

# 第9回 会社説明会

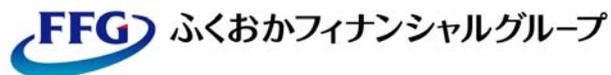
## FFG第三次中期経営計画

ABCプラン ~ Always Best for the Customer ~



2010年3月17日

あなたのいちばんに。



## Part I 第三次中期経営計画

- FFGの経営戦略 . . . 03
- ABCプランの全体像 . . . 04
- 第二次中計の総括 . . . 05
- ABCプランの位置づけ . . . 06
- お客様とのリレーション強化 . . . 07
- 生産性の劇的な向上 . . . 08
- FFGカルチャーの浸透 . . . 09
- 安定収益資産の積上げ . . . 10
- 資本政策 . . . 11
- 配当政策 . . . 12

## Part II 主要計数計画

- 経営目標指標 . . . 14
- 利益計画 . . . 15
- トップラインの推移 . . . 16
- 国内貸出金計画 . . . 17
- 預金・NCD計画 . . . 18

- 利回り・利鞘計画 . . . 19
- 有価証券計画 . . . 20
- 非金利収益計画 . . . 21
- 経費計画 . . . 22
- 信用コスト・不良債権 . . . 23
- 安定収益資産の積上げ . . . 24

## Part III 計数資料

- 福岡銀行のトップライン . . . 26
- 熊本ファミリー銀行のトップライン . . . 27
- 親和銀行のトップライン . . . 28
- 国内貸出金計画 . . . 29
- 預金・NCD計画 . . . 30
- 有価証券計画 . . . 31
- 非金利収益計画 . . . 32
- 経費計画 . . . 33
- 信用コスト・不良債権 . . . 34

## Part IV 参考資料

- 九州のマクロポテンシャル . . . 36
- 九州の産業構造 . . . 37
- 九州の域内ネットワーク . . . 38
- 九州の景気動向 . . . 39
- 福岡・熊本・長崎の景気動向 . . . 40
- 九州の金融マーケット . . . 41
- FFGのマーケットシェア . . . 42
- 貸出金 . . . 43
- 預金 . . . 44
- 企業倒産 . . . 45
- 主な経済指標 . . . 46

### 出席者

取締役会長兼社長	谷 正明
取締役	吉戒 孝
経営企画部長	横田 浩二

# Part I

## 第三次中期経営計画

## グループ経営理念

ふくおかフィナンシャルグループは、高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、未来志向で高品質を追求し、人々の最良な選択を後押しする、すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する金融グループを目指します。

## ブランドスローガン

**あなたのいちばんに。**

**いちばん身近な**  
お客様の声に親身に耳を傾け、対話し、共に歩みます

**いちばん頼れる**  
豊富な知識と情報を活かし、お客様一人ひとりに最も適したサービスを提供します

**いちばん先を行く**  
金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます

コアバリュー

FFG第三次中期経営計画  
『ABCプラン ～Always Best for the Customer～』  
(期間:2010年4月～2013年3月)

## FFGの経営スタイル

- 3ブランド・シングルプラットフォーム
- 広域展開型地域金融グループ

**FFG**  
ふくおかフィナンシャルグループ

総資産 11.5兆円  
役職員 7,050名  
(3行合計)

- 経営戦略の統一
- 経営インフラの共通化
- 一体の経営体制

**親和銀行**

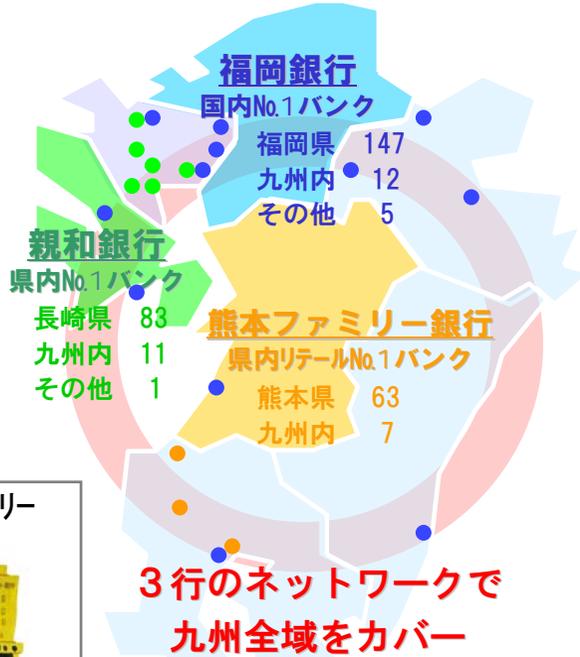
総資産 2.0兆円  
役職員 1,700名

**福岡銀行**

総資産 8.5兆円  
役職員 4,100名

**熊本ファミリー銀行**

総資産 1.1兆円  
役職員 1,250名



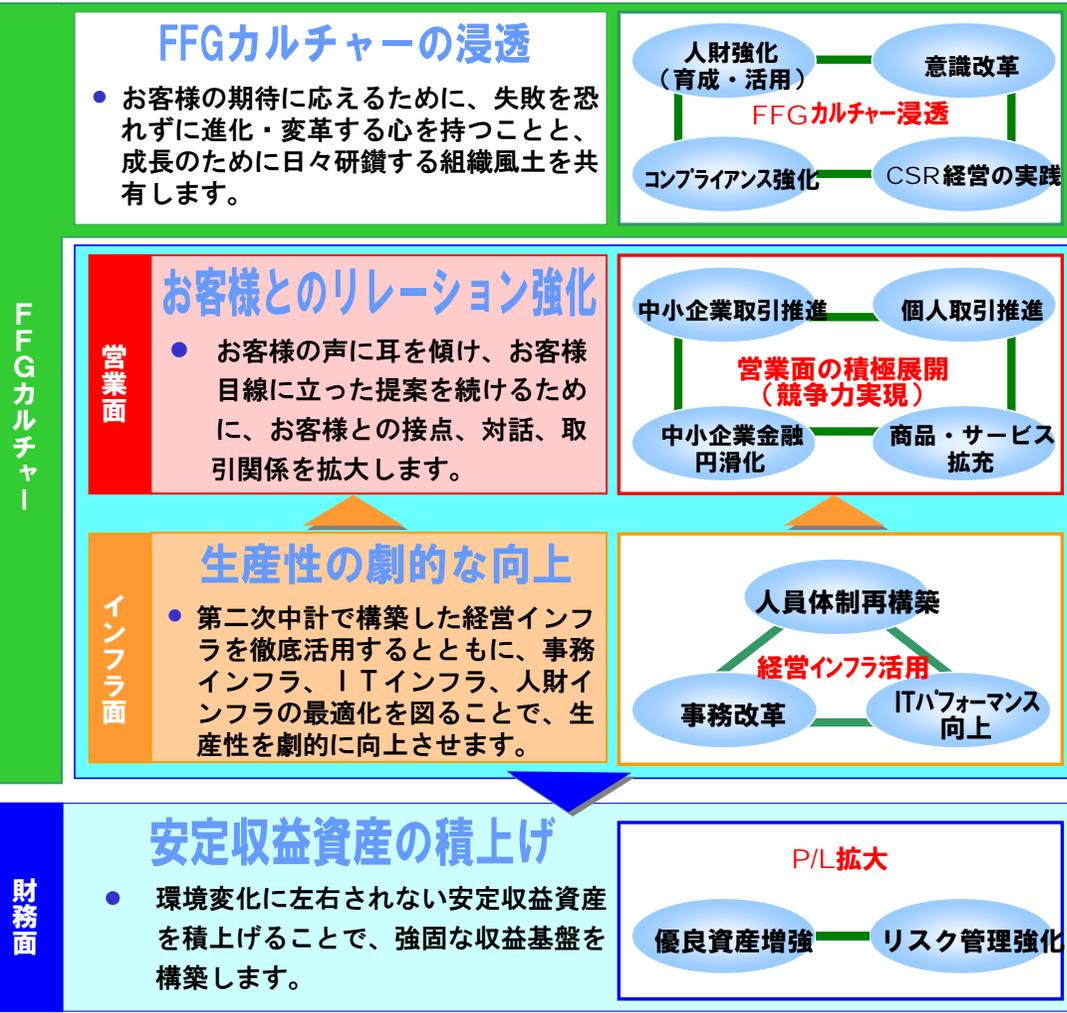
※数字は営業拠点数

(2010年3月末見込)

# ABCプランの全体像

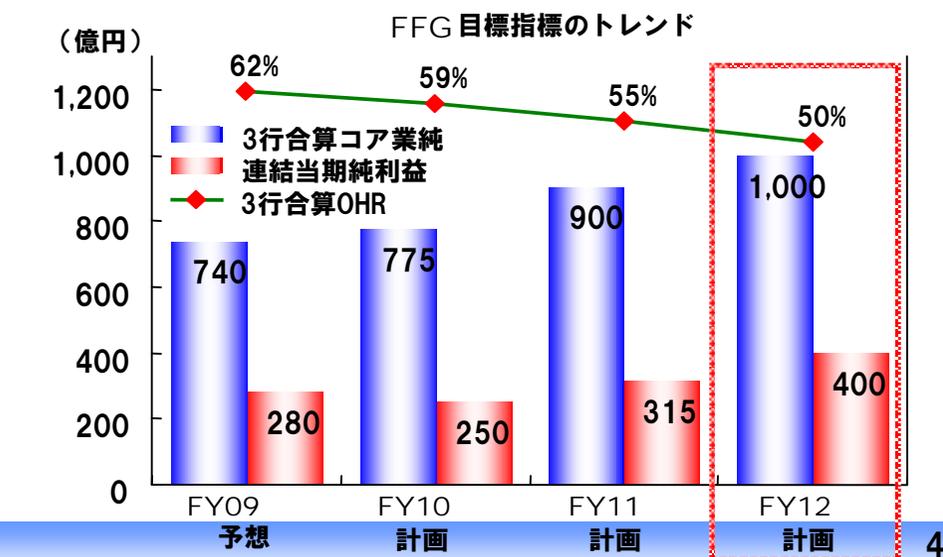
## ABCプランとは

● 営業面での積極展開を巡航速度で進めて、（これまで構築してきた）経営インフラの徹底活用で生産性の劇的な向上を図る中計



## 目標指標（2012年度）

	金利横這（メイン）	金利上昇（サブ）
<b>目標指標</b>		
3行合算コア業務純益	1,000億円	1,100億円
連結当期純利益	400億円	460億円
3行合算OHR	50%	50%未満
<b>目安指標</b>		
連結Tier I 比率	7%	同左
連結不良債権比率	2%台	同左



**GOAL** 『質・量ともにトップクラスの地域金融グループ』

# 第二次中計の総括

基本方針	第二次中計スタート時に目指した姿	現状	評価																																																																																																									
<b>グループ一体経営体制の確立</b>	<p>■ 3ブランド・シングルプラットフォーム</p> <p>グループ内 シングルプラットフォーム（一体の経営体制・共通のインフラ）</p> <p>ガバナンス体制 リスク管理 システム・事務インフラの共通化 内部管理態勢 商品サービス企画・提供</p> <p>親和銀行 福岡銀行 熊本ファミリー銀行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✔ 事務・システム統合完遂</li> <li>✔ リスク管理の一元化・目線統一完了</li> <li>✔ 会社分割による事業再生支援体制整備</li> <li>✔ 本部業務の効率化</li> <li>✔ 関連会社の集約</li> <li>✔ グループ内店舗の統廃合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 独自の経営スタイル体制の構築・定着</li> <li>● リスク管理体制共通化</li> <li>● 不良債権問題との決別</li> <li>● 営業推進体制の变革（商品・サービス統一）</li> <li>● 事務・IT共通化</li> </ul>																																																																																																									
<b>統合シナジー効果の早期実現と最大化</b>	<p>■ 中計最終年度（09年度）の当初計数</p> <table border="1"> <tr> <td>収益性</td> <td>3行合算コア業務純益</td> <td>1,000億円</td> <td>740億円 ▲260億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>連結当期純利益</td> <td>500億円</td> <td>280億円 ▲220億円</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>連結ROE</td> <td>7%</td> <td>4.5% ▲2.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3行合算OHR</td> <td>53%</td> <td>60% ▲7%</td> </tr> <tr> <td>規模</td> <td>総資産（3行合算）</td> <td>12兆円</td> <td>11.5兆円 ▲0.5兆円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総貸出金（3行合算）</td> <td>8.3兆円</td> <td>8.2兆円 ▲0.1兆円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総資金（3行合算）</td> <td>10.6兆円</td> <td>10.3兆円 ▲0.3兆円</td> </tr> <tr> <td>健全性</td> <td>連結不良債権比率</td> <td>2%台</td> <td>2%台 計画達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>連結自己資本比率</td> <td>9%</td> <td>10%台 計画達成</td> </tr> <tr> <td>前提条件</td> <td>O/N金利</td> <td>0.75%</td> <td>0.10% ▲0.65%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MTIBOR</td> <td>0.95%</td> <td>0.45% ▲0.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10年SWAP</td> <td>1.90%</td> <td>1.40% ▲0.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日経平均</td> <td>17,000円</td> <td>10,567円 ▲6,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>信用コスト</td> <td>15bp</td> <td>29bp +14bp</td> </tr> </table>	収益性	3行合算コア業務純益	1,000億円	740億円 ▲260億円		連結当期純利益	500億円	280億円 ▲220億円	効率性	連結ROE	7%	4.5% ▲2.5%		3行合算OHR	53%	60% ▲7%	規模	総資産（3行合算）	12兆円	11.5兆円 ▲0.5兆円		総貸出金（3行合算）	8.3兆円	8.2兆円 ▲0.1兆円		総資金（3行合算）	10.6兆円	10.3兆円 ▲0.3兆円	健全性	連結不良債権比率	2%台	2%台 計画達成		連結自己資本比率	9%	10%台 計画達成	前提条件	O/N金利	0.75%	0.10% ▲0.65%		3MTIBOR	0.95%	0.45% ▲0.5%		10年SWAP	1.90%	1.40% ▲0.5%		日経平均	17,000円	10,567円 ▲6,500円		信用コスト	15bp	29bp +14bp	<p>■ 09年度計数予想</p> <table border="1"> <tr> <td>資金利益</td> <td>▲120億円</td> <td>▲21</td> <td>▲100</td> </tr> <tr> <td>預貸出金収益</td> <td>▲42億円</td> <td>▲15</td> <td>▲28</td> </tr> <tr> <td>貸出金</td> <td>▲328億円</td> <td>▲31</td> <td>▲298</td> </tr> <tr> <td>預金</td> <td>+286億円</td> <td>+16</td> <td>+270</td> </tr> <tr> <td>有価証券運用</td> <td>▲60億円</td> <td>▲6</td> <td>▲54</td> </tr> <tr> <td>その他市場関連</td> <td>▲18億円</td> <td>-</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td>役員利益</td> <td>▲126億円</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>うち資産運用収益</td> <td>▲95億円</td> <td>▲72</td> <td>▲23</td> </tr> <tr> <td>投資信託収益</td> <td>▲80億円</td> <td>▲73</td> <td>▲7</td> </tr> <tr> <td>保険収益</td> <td>▲15億円</td> <td>+1</td> <td>▲16</td> </tr> </table> <p>※資産運用収益R要因は手数料率要因</p> <p>■ 経費面の環境変化</p> <table border="1"> <tr> <td>経費</td> <td>▲10億円</td> <td>株価下落による退職給付費用増加▲16億円</td> </tr> </table> <p>■ 信用コストを取り巻く環境変化</p> <table border="1"> <tr> <td>信用コスト</td> <td>▲110億円</td> <td>信用コスト15bp⇒29bp</td> </tr> <tr> <td>信用コスト率</td> <td>14bp</td> <td>会社分割により不良債権比率は目標達成</td> </tr> </table>	資金利益	▲120億円	▲21	▲100	預貸出金収益	▲42億円	▲15	▲28	貸出金	▲328億円	▲31	▲298	預金	+286億円	+16	+270	有価証券運用	▲60億円	▲6	▲54	その他市場関連	▲18億円	-	▲18	役員利益	▲126億円	-	-	うち資産運用収益	▲95億円	▲72	▲23	投資信託収益	▲80億円	▲73	▲7	保険収益	▲15億円	+1	▲16	経費	▲10億円	株価下落による退職給付費用増加▲16億円	信用コスト	▲110億円	信用コスト15bp⇒29bp	信用コスト率	14bp	会社分割により不良債権比率は目標達成	<p>『収益性』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境変化に伴い当初計画を変更</li> </ul> <p>『効率性』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● OHRは未達であるも、経費計画はほぼ達成</li> </ul> <p>『規模』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景気低迷、不良債権処理を進める中で、ほぼ計画を達成</li> </ul> <p>『健全性』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FFG及び子銀行3行とも当初計画を達成</li> </ul>
収益性	3行合算コア業務純益	1,000億円	740億円 ▲260億円																																																																																																									
	連結当期純利益	500億円	280億円 ▲220億円																																																																																																									
効率性	連結ROE	7%	4.5% ▲2.5%																																																																																																									
	3行合算OHR	53%	60% ▲7%																																																																																																									
規模	総資産（3行合算）	12兆円	11.5兆円 ▲0.5兆円																																																																																																									
	総貸出金（3行合算）	8.3兆円	8.2兆円 ▲0.1兆円																																																																																																									
	総資金（3行合算）	10.6兆円	10.3兆円 ▲0.3兆円																																																																																																									
健全性	連結不良債権比率	2%台	2%台 計画達成																																																																																																									
	連結自己資本比率	9%	10%台 計画達成																																																																																																									
前提条件	O/N金利	0.75%	0.10% ▲0.65%																																																																																																									
	3MTIBOR	0.95%	0.45% ▲0.5%																																																																																																									
	10年SWAP	1.90%	1.40% ▲0.5%																																																																																																									
	日経平均	17,000円	10,567円 ▲6,500円																																																																																																									
	信用コスト	15bp	29bp +14bp																																																																																																									
資金利益	▲120億円	▲21	▲100																																																																																																									
預貸出金収益	▲42億円	▲15	▲28																																																																																																									
貸出金	▲328億円	▲31	▲298																																																																																																									
預金	+286億円	+16	+270																																																																																																									
有価証券運用	▲60億円	▲6	▲54																																																																																																									
その他市場関連	▲18億円	-	▲18																																																																																																									
役員利益	▲126億円	-	-																																																																																																									
うち資産運用収益	▲95億円	▲72	▲23																																																																																																									
投資信託収益	▲80億円	▲73	▲7																																																																																																									
保険収益	▲15億円	+1	▲16																																																																																																									
経費	▲10億円	株価下落による退職給付費用増加▲16億円																																																																																																										
信用コスト	▲110億円	信用コスト15bp⇒29bp																																																																																																										
信用コスト率	14bp	会社分割により不良債権比率は目標達成																																																																																																										
<b>FFGカルチャーの創造</b>	<p>■ グループ経営理念の浸透</p> <p>■ FFGブランドの展開</p> <p>一体感の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✔ プロジェクトSの本格展開（営業拡大ステージへ）</li> <li>✔ グループ間人財交流、姉妹店制度実施</li> <li>✔ CSR活動の積極展開</li> <li>✔ グループコンプラ体制の整備（共通化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様とのリレーション強化</li> <li>● グループブランドスローガン「あなたのいちばんに。」の定着</li> </ul>																																																																																																									

# ABCプランの位置づけ

- 第二次中計：経営統合後、熊本ファミリー及び親和銀行の不良債権処理及び価格変動リスクの高い有価証券ポートフォリオの再構築を進め、バランスシートの改善を達成。（B/S改善）
- 第三次中計：グループ3行ともにリスクテイクできる体制が整ったため、営業面での積極展開を巡航速度で進める「加速（ABCプラン）ステージ」に移行して、安定収益資産の積上げを図る。（P/L拡大）

		2006年度 ※3行合算				FY06-09増減 (助走ステージ)				2009年度 (予想)				ABCプラン期間増減 (加速ステージ)				2012年度 (計画)			
		FFG				FFG				FFG				FFG				FFG			
		BOF	KFB	SWB	BOF	KFB	SWB	BOF	KFB	SWB	BOF	KFB	SWB	BOF	KFB	SWB	BOF	KFB	SWB		
① 業容	総資産 (兆円)	11.5	7.7	1.3	2.4	0.0	0.6	▲ 0.1	▲ 0.4	11.5	8.3	1.2	2.0	1.0	0.7	0.1	0.2	12.5	9.0	1.3	2.2
	貸出金 (兆円)	7.7	5.2	1.0	1.6	0.4	1.0	▲ 0.1	▲ 0.4	8.2	6.1	0.8	1.2	0.9	0.6	0.1	0.2	9.1	6.8	1.0	1.4
	預金 (兆円)	10.0	6.7	1.2	2.1	0.2	0.5	▲ 0.1	▲ 0.2	10.2	7.3	1.1	1.9	0.9	0.6	0.1	0.2	11.2	7.9	1.2	2.1
② 資産内容	不良債権残高 (億円)	3,921	1,199	568	2,154	▲ 1,571	651	▲ 418	▲ 1,804	2,350	1,850	150	350	▲ 140	▲ 120	0	▲ 20	2,210	1,730	150	330
	不良債権比率 (%)	6.1%	2.2%	5.7%	13.6%	▲ 3.3%	0.7%	▲ 4.0%	▲ 10.6%	2.8%	2.9%	1.7%	2.9%	▲ 0.3%	▲ 0.3%	▲ 0.1%	▲ 0.4%	2.5%	2.6%	1.6%	2.6%
	有価証券													(残高圧縮の方向)							
	株式 (億円)	1,138	651	195	292	▲ 503	▲ 131	▲ 125	▲ 247	635	520	70	45	▲ 132	▲ 34	▲ 90	▲ 8	615	500	70	45
	CDO・仕組L (億円)	1,053	191	345	517	▲ 701	▲ 157	▲ 95	▲ 449	352	34	250	68	▲ 132	▲ 34	▲ 90	▲ 8	220	0	160	60
自己資本比率 (%)	—	11.3%	6.6%	5.8%	—	1.0%	2.9%	4.6%	10.4%	12.3%	9.5%	10.4%	1.1%	0.7%	0.5%	1.6%	11.5%	13.0%	10.0%	12.0%	
③ 収益規模	業務粗利益 (億円)	2,121	1,302	264	555	▲ 202	43	▲ 24	▲ 221	1,887	1,316	234	338	233	144	26	62	2,120	1,460	260	400
	コア業務純益 (億円)	899	600	106	193	▲ 159	▲ 10	▲ 46	▲ 103	740	590	60	90	260	170	30	60	1,000	760	90	150
	信用コスト (億円)	▲ 1,562	▲ 33	▲ 686	▲ 843	1,322	▲ 167	666	823	▲ 240	▲ 200	▲ 20	▲ 20	65	70	0	▲ 5	▲ 175	▲ 130	▲ 20	▲ 25
	当期純利益 (億円)	▲ 917	330	▲ 570	▲ 677	1,317	24	586	708	400	346	20	34	120	14	20	86	520	360	40	120
④ 営業リソース	店舗数 (店)	379	166	79	134	▲ 50	▲ 2	▲ 9	▲ 39	329	164	70	95	(新規出店検討)				329	164	70	95
	店舗 建替・移転 (店)	—	—	—	—	26	21	3	2	—	—	—	—	40	20	5	15	—	—	—	—
	改修 (店)	—	—	—	—	126	126	0	0	—	—	—	—	130	0	60	70	—	—	—	—
	人員数 (人)	7,920	4,381	1,513	2,026	▲ 870	▲ 281	▲ 263	▲ 326	7,050	4,100	1,250	1,700	▲ 800	▲ 300	▲ 150	▲ 350	6,250	3,800	1,100	1,350
	主要関連会社数 (社)	17	6	5	6	▲ 4	5	▲ 5	▲ 4	13	11	0	2	▲ 4	▲ 3	0	▲ 1	9	8	0	1

※FFG計数は子銀行合算ベース、06年度の人員数・店舗数は07/10末（3行統合時）の数字、株式は上場株式

# お客様とのリレーション強化

## 取組内容 (お客様への約束)

● お客様の声に耳を傾け、お客様目線に立った提案を続けるために、お客様との接点、対話、取引関係を拡大します。

### 『中小企業取引の推進』

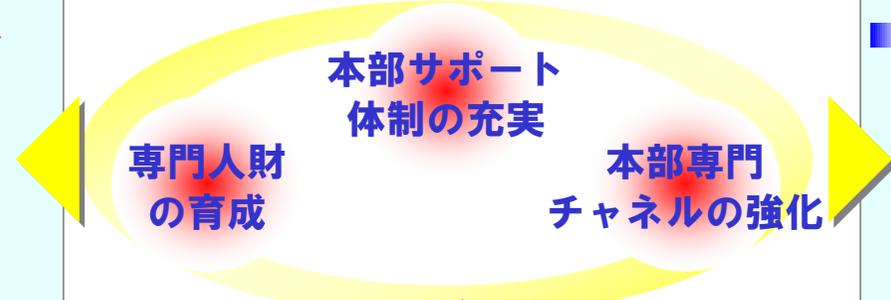
#### ■ 事業活動そのものをサポート

- ✓ 事業拡大、販路拡大
- ✓ ビジネスマッチング拡充
- ✓ 海外ビジネスサポート
- ✓ 再生支援、経営改善支援
- ✓ 金融円滑化対応

#### ■ 各ビジネス商談会の様子



### 徹底的な顧客志向に立った営業の追求



#### ■ FFGの営業基盤

- 幅広い業種にわたる約25万先の法人顧客網
- 九州全域を中心に約540万の個人活動口座
- 九州全域をカバーした329ヶ店の国内店舗網
- 3ヶ所の海外拠点網（上海・大連・香港）

### 『個人取引の推進』

#### ■ 人生設計そのものをサポート

- ✓ ライフサイクルに応じた商品・サービスの提供
- ✓ 世代別マーケティングの強化
- ✓ 金融円滑化対応

#### ■ FFGプライベートバンキングフロア



### 『店舗充実・機能改善』

#### ■ 積極的な店舗投資を継続

- ✓ 店舗建替の積極展開
  - グループ全体で40ヶ店程度
- ✓ ブランディング店舗改修のFFG全店展開
- ✓ ATMサービスの3行共通化（カード入金・通帳取引の相互利用）

“みんなに優しい” をコンセプトにした  
ユニバーサルデザインで店舗改修を展開

福銀は、全店リニューアル済  
統一ブランドで、熊本・長崎に展開

#### バリアフリー対応



ロビー改装

#### お客様用トイレ



# 生産性の劇的な向上

## 取組内容 (お客様への約束)

- 第二次中計で構築した経営インフラを徹底活用するとともに、事務インフラ、ITインフラ、人財インフラの最適化を図ることで、生産性を劇的に向上させます。

- 『事務インフラ』
- 『ITインフラ』
- 第二次中計：グループ3行での『事務処理』及び『システム』の共通化が完了
  - ABCプラン：共通化した事務・ITインフラの活用 ⇒ 『グループ営業店事務の効率化』

- 事務集中化の拡大による後方事務極小化
- ✓ 為替処理の完全センター対応
- ✓ 相続手続き
- ✓ 電話による各種照会対応

お客様サービスに専念できる営業店体制

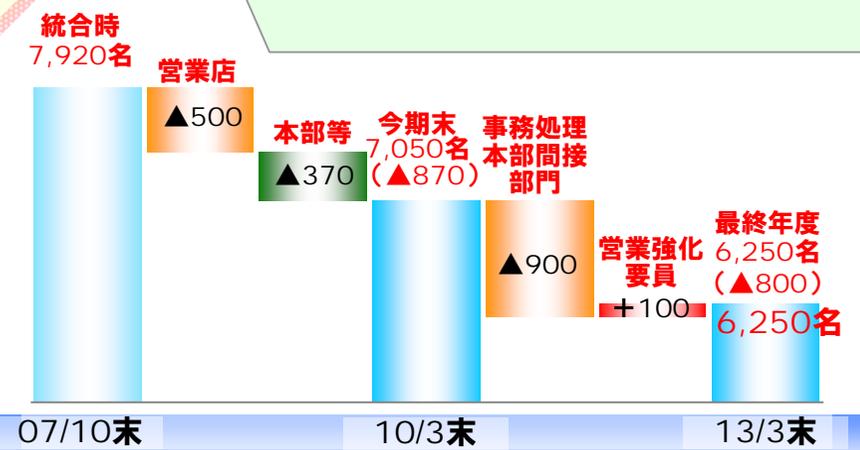
集中部門での専門性の高い事務処理

待ち時間短縮  
事務ミス削減

- IT技術の高度化・活用
- ✓ イメージ処理技術によるペーパーレス化拡大 (帳票保管・登録業務の縮小)

『人財インフラ』

■ グループ人員  
6,250名体制へ



## 取組内容 (お客様への約束)

- お客様の期待に応えるために、失敗を恐れずに進化・変革する心を持つことと、成長のために日々研鑽する組織風土を共有します。

### ■ “FFG カルチャー” とは

- 『経営理念』：FFGの普遍的な“志”

高い感受性・  
失敗を恐れない  
行動力

未来志向・  
高品質のサービス

人々の最良の  
選択を後押し

『ブランドスローガン』

あなたのいちばんに。

を实践する思考・行動

『マルチブランド・シングル  
プラットフォームの深堀』

3行の自律性とFFG求心力の  
バランス

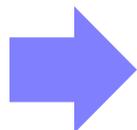
### ■ “FFG カルチャー” を浸透させるために

- 人財交流 : グループ間で常時150名の相互出向
- 人財育成 : 「プロ意識」と「専門知識」を兼ね備えた若手営業担当者を5年間で1,000名育成
- CSR : 企業の社会的責任（ステークホルダーと共生しながら持続的に成長する）

#### FFGの3つの活動領域

- 環境共生活動
- 生涯学習支援
- ユニバーサルアクション

- コンプライアンスの浸透



- 3年間で7億円のCSR予算確保

グループで水平的・垂直的に展開

# 安定収益資産の積上げ

**取組内容**  
(お客様への約束)

● 環境変化に左右されない安定収益資産を積上げることで、強固な収益基盤を構築します。

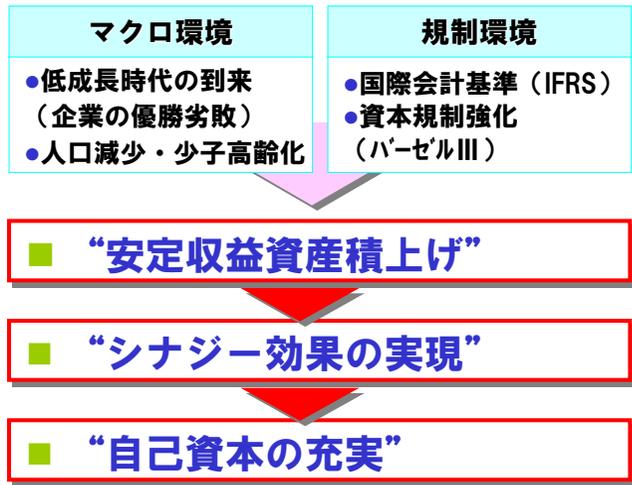
目指すバランスシート

現状 (2009年度見込み)

預貸率：80%      預証率：23%

貸出金	8.2 兆円	預金	10.3 兆円
中小企業貸出：3.4兆円			
住宅ローン：1.9兆円			
有価証券	2.4 兆円		
その他資産	0.9 兆円	その他負債	0.6 兆円
資産合計	11.5 兆円	資本	0.6 兆円
		負債・資本合計	11.5 兆円

← ABCプラン期間 →



最終年度 (2012年度見込み)

預貸率：81%      預証率：23%

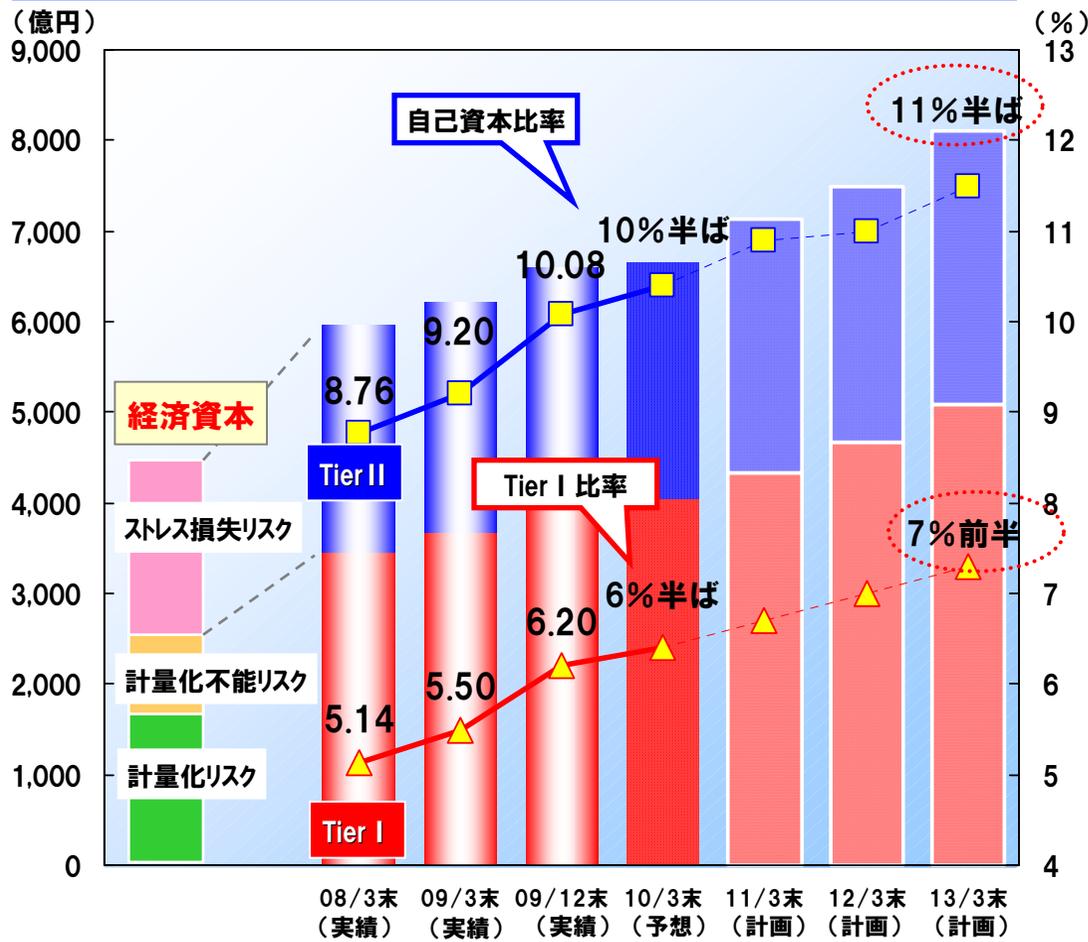
貸出金	9.1 兆円	預金	11.2 兆円
中小企業貸出：3.6兆円			
(最終年度年率4.5%)			
住宅ローン：2.3兆円			
(最終年度年率6.8%)			
有価証券	2.6 兆円		
その他資産	0.8 兆円	その他負債	0.6 兆円
資産合計	12.5 兆円	資本	0.7 兆円
		負債・資本合計	12.5 兆円

- “安定収益資産積上げ” (規模の拡大)
  - 金利環境から貸出利回りは低下する (1.98%⇒1.89%) が、中小企業貸出、個人向けローンの積上げで強固な収益基盤を構築
- “シナジー効果の実現” (収益の拡大)
  - ABCプラン期間：3年間でコア業務純益+260億円
  - 収益シナジー：80%、効率化シナジー：20%

- “資産内容の健全化” (質の向上)
  - 不良債権比率：2%台
- “自己資本の充実” (質の向上)
  - 自己資本比率：11%
  - Tier I 比率：7%

- 基本スタンス：安定資産積み上げに必要十分な自己資本水準の確保と資本の効率性を意識した運営
- 利益積み上げを中心として、のれん代等の控除項目の減少で資本の質も向上
- 中計最終年度目安：自己資本比率11%、Tier I 比率7%

### FFGの自己資本比率

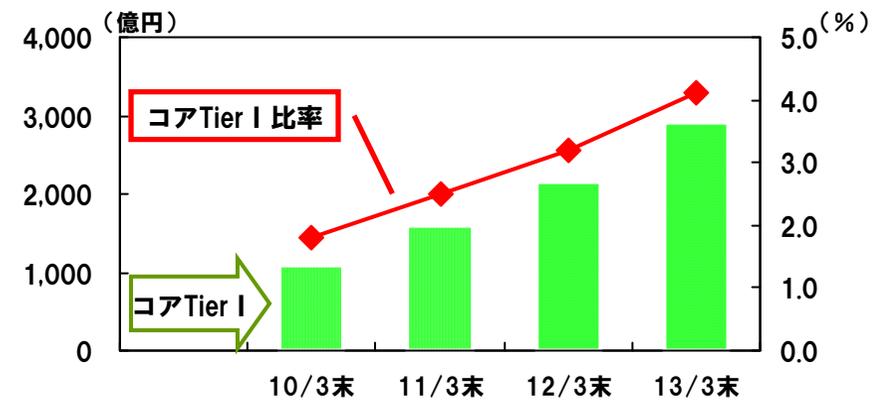


### 子銀行の自己資本比率

	08/3末 実績	09/3末 実績	09/12末 実績	10/3末 予想	13/3末 計画
福岡	9.62%	11.14%	11.93%	12%後半	13%程度
熊本	8.45%	9.22%	9.75%	10%程度	10%程度
親和	6.14%	9.15%	9.49%	9%半ば	10%程度
	3.58%	7.04%	7.36%	7%前半	8%程度
	8.05%	10.12%	10.42%	10%後半	11%後半
	4.45%	6.36%	6.98%	7%程度	7%半ば

※上段：自己資本比率、下段：Tier I 比率

### [参考] コアTier I の試算



※バーゼル委員会が昨年末に公表した市中協議文書を基に試算

- グループ配当性向20%超を目安として、業績連動配当の枠組みを維持
- 配当テーブルは現行維持とし、地銀セクターで上位の配当性向及び1株あたり配当金を還元

## 配当方針

- グループ配当性向目安=20%超

$$\text{グループ配当性向} = \frac{\text{FFGの配当総額}}{\text{FFG連結当期純利益（のれん償却後）}}$$

- 業績連動配当の維持

- FFG連結当期純利益の水準に応じて1株あたり配当金を段階的に設定
- テーブルは現中計から変更なし

### [配当テーブル]

FFG連結当期純利益水準	配当金	配当性向
～250億円以下	7円～	～24%
250億円～300億円以下	8円～	23%～28%
300億円～350億円以下	9円～	22%～26%
350億円～400億円以下	10円～	22%～25%
400億円～450億円以下	11円～	21%～24%
450億円～500億円以下	12円～	21%～23%
500億円～550億円以下	13円～	20%～22%
550億円～	14円～	22%～

※FFG発行済み株式数 約860百万株

## ● 一株あたり配当金とROEの目安

- メインシナリオ（金利横這い）

	FFG連結当期純利益	配当金	配当性向	ROE
10年度	250 億円	8 円	27 %	4 %
11年度	315 億円	9 円	24 %	5 %
12年度	400 億円	11 円	23 %	6 %

- サブシナリオ（金利上昇）

	FFG連結当期純利益	配当金	配当性向	ROE
10年度	250 億円	8 円	27 %	4 %
11年度	315 億円	9 円	24 %	5 %
12年度	460 億円	12 円	23 %	6 %半ば

# Part II

## 主要計数計画

## 目標指標

		金利横這い(メインシナリオ)		
		FY10	FY11	FY12
目標指標	3行合算コア業務純益	775億円	900億円	1,000億円
	連結当期純利益	250億円	315億円	400億円
	3行合算OHR	59%	55%	50%
指目標安	連結Tier I 比率	6%台後半	7%	7%
	連結不良債権比率	2%台	2%台	2%台

金利上昇
FY12
1,100億円
460億円
50%未満
同左
同左

## 【金利横這いシナリオ】

		FY10	FY11	FY12
市場金利	0/N	0.10%	⇒	⇒
	3M	0.46%	⇒	⇒
	1Y	0.60%	⇒	⇒
	5Y SWAP	0.75%	⇒	⇒
	10Y SWAP	1.45%	⇒	⇒
基準金利	普通預金	0.04%	⇒	⇒
	1年定期預金	0.07%	⇒	⇒
	短期プライム	1.975%	⇒	⇒

## 【参考】子銀行の経営指標（目安）

子銀行	指標	FY10	FY11	FY12
福岡銀行	コア業務純益	615億円	700億円	760億円
	当期純利益	275億円	320億円	360億円
	OHR	53%	50%	40%台半ば
	Tier I 比率	10%台半ば	10%台半ば	10%台半ば
	不良債権比率	2%台	2%台	2%台
熊本ファミリー銀行	コア業務純益	70億円	80億円	90億円
	当期純利益	40億円	32億円	40億円
	OHR	70%	60%台半ば	60%台前半
	Tier I 比率	7%台半ば	7%台後半	8%台
	不良債権比率	1%台	1%台	1%台
親和銀行	コア業務純益	90億円	120億円	150億円
	当期純利益	55億円	82億円	120億円
	OHR	70%台	60%台後半	60%
	Tier I 比率	7%台半ば	7%台後半	8%台後半
	不良債権比率	2%台	2%台	2%台

850億円
415億円
40%台前半
同左
同左
90億円
35億円
60%台前半
同左
同左
160億円
130億円
60%以下
同左
同左

## 【金利上昇シナリオ】

		FY10	FY11	FY12
市場金利	0/N	0.10%	0.37%	1.00%
	3M	0.46%	0.77%	1.25%
	1Y	0.60%	0.93%	1.35%
	5Y SWAP	0.75%	1.10%	1.50%
	10Y SWAP	1.45%	1.73%	2.20%
基準金利	普通預金	0.04%	0.15%	0.35%
	1年定期預金	0.07%	0.37%	0.54%
	短期プライム	1.975%	2.300%	2.675%

- ・普通預金感応度：0/N金利に対し40%
- ・1年定期感応度：1年TIBORに対し40%
- ・短期プライムレート：3M TIBORに対し100%

(億円)

## FFG 3行単体合算

## 福岡銀行

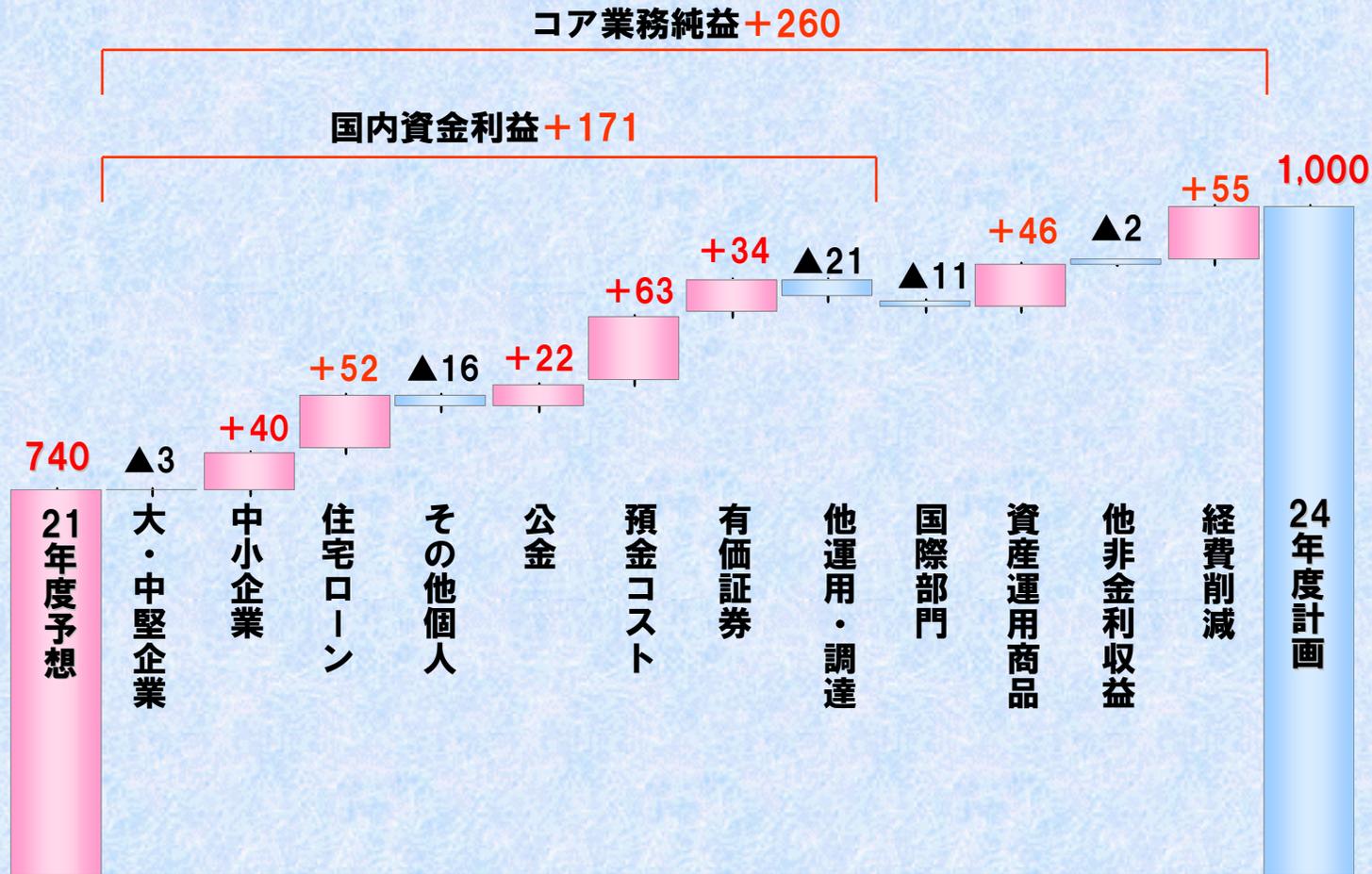
## 熊本ファミリー銀行

## 親和銀行

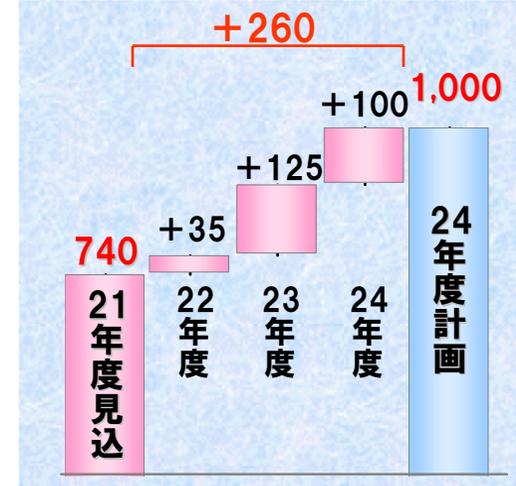
	FY09 予想	FY10 計画	FY11 計画	FY12 計画												
業務粗利益	1,887	1,923	2,014	2,090	1,316	1,340	1,398	1,444	234	239	246	255	338	344	370	391
資金利益	1,637	1,671	1,745	1,797	1,138	1,160	1,207	1,235	214	216	223	230	285	295	315	332
国内部門	1,575	1,609	1,685	1,746	1,080	1,106	1,155	1,191	213	214	221	228	282	289	309	327
国際部門	62	62	60	51	58	54	52	44	1	2	2	2	3	6	6	5
非金利収益	251	252	269	293	178	180	191	209	20	23	23	25	53	49	55	59
うち資産運用商品販売	76	90	105	122	47	56	66	76	11	13	14	17	17	21	25	29
経費	1,145	1,136	1,114	1,090	725	713	698	684	174	169	166	165	246	254	250	241
業務純益	684	787	900	1,000	528	627	700	760	58	70	80	90	99	90	120	150
コア業務純益	740	775	900	1,000	590	615	700	760	60	70	80	90	90	90	120	150
臨時損益等	▲ 289	▲ 255	▲ 237	▲ 220	▲ 214	▲ 192	▲ 178	▲ 170	▲ 37	▲ 28	▲ 24	▲ 20	▲ 37	▲ 35	▲ 35	▲ 30
経常利益	396	532	663	780	314	435	522	590	21	42	56	70	62	55	85	120
特別損益	▲ 24	20	5	12	5	24	11	15	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 3	▲ 28	▲ 2	▲ 4	0
税引前純利益	372	552	668	792	319	459	533	605	20	40	54	67	33	53	81	120
法人税等税金費用	▲ 29	182	234	272	▲ 28	184	213	245	▲ 0	0	22	27	▲ 1	▲ 2	▲ 1	0
当期純利益	400	370	435	520	346	275	320	360	20	40	32	40	34	55	82	120
信用コスト	240	163	168	175	200	120	125	130	20	18	18	20	20	25	25	25
連結調整	▲ 120	▲ 120	▲ 120	▲ 120	連結調整内訳											
FFG連結当期純利益	280	250	315	400	のれん償却	▲ 92	外部調達等	▲ 28								

(単位：億円)

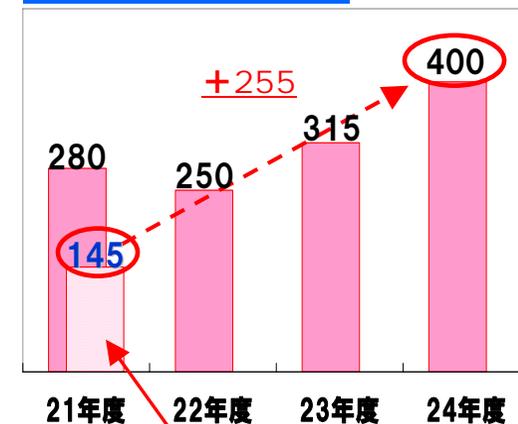
## コア業務純益増減



## 年度別積上げ額



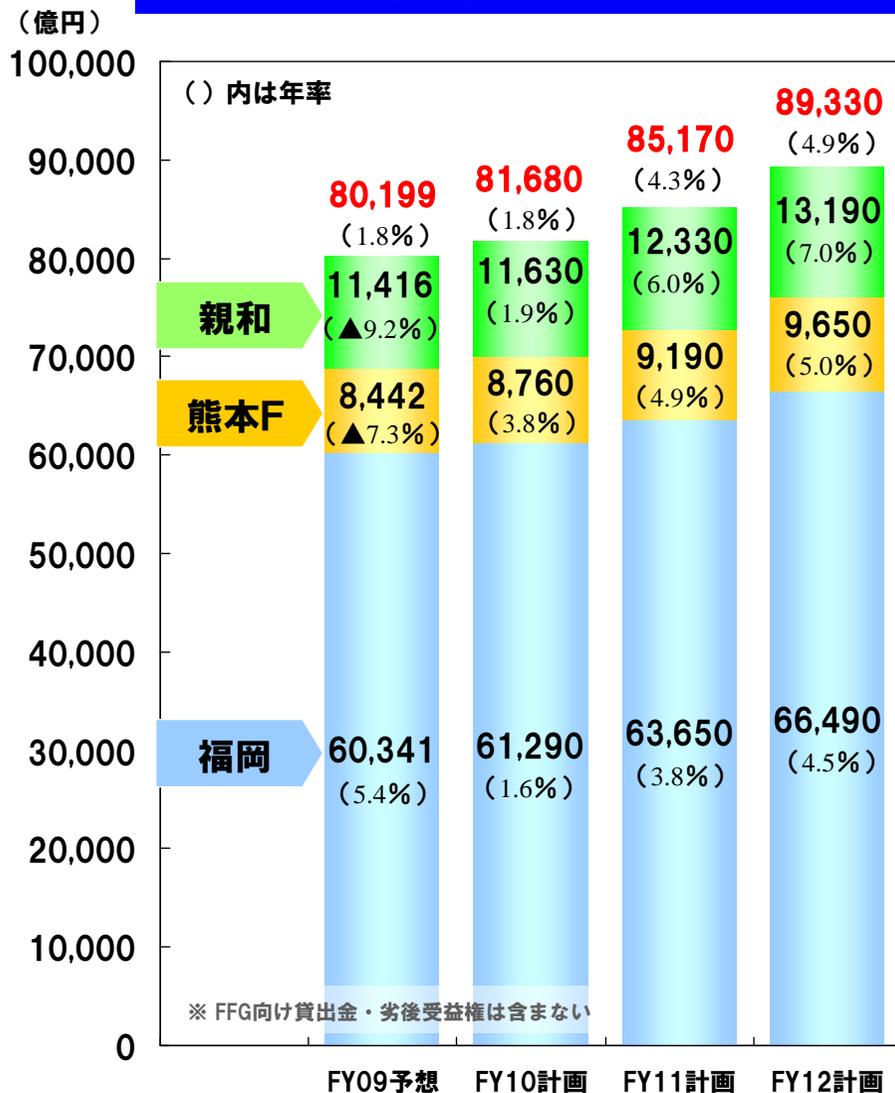
## 連結当期純利益



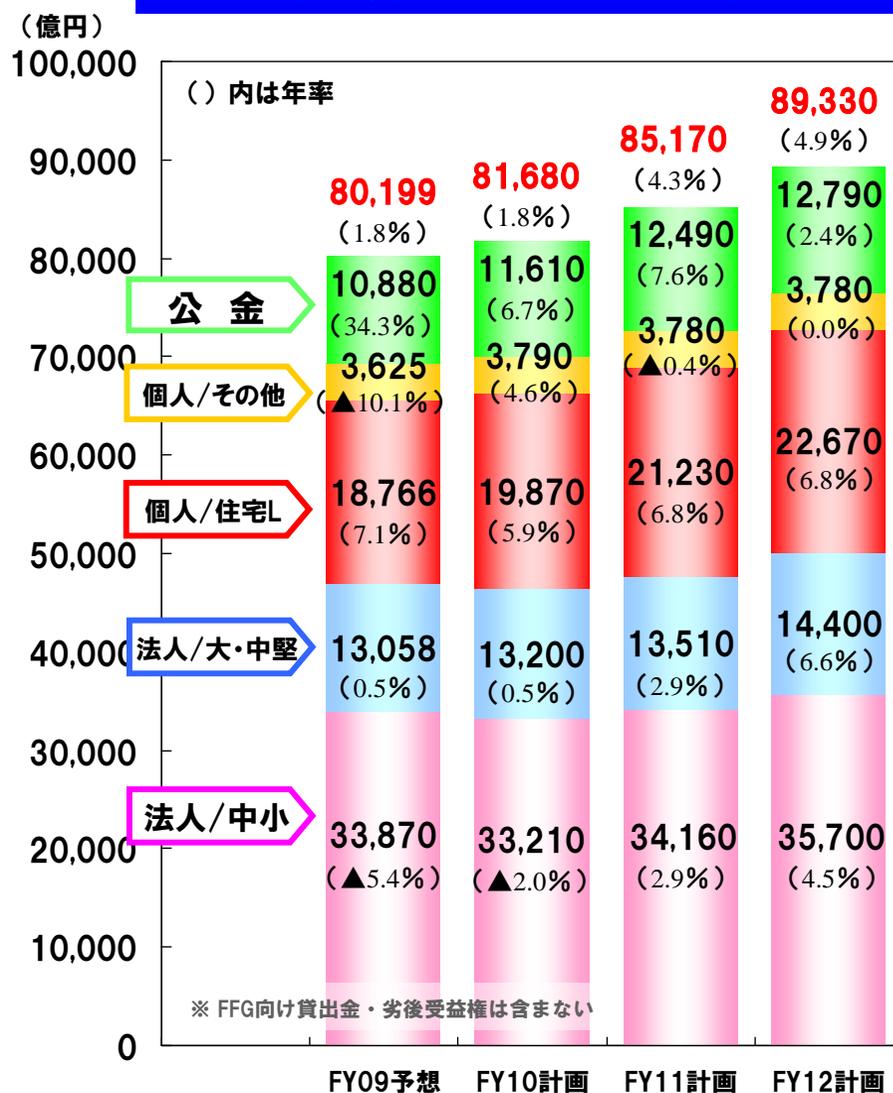
【特殊要因修正後】

システム統合▲25、税効果+160

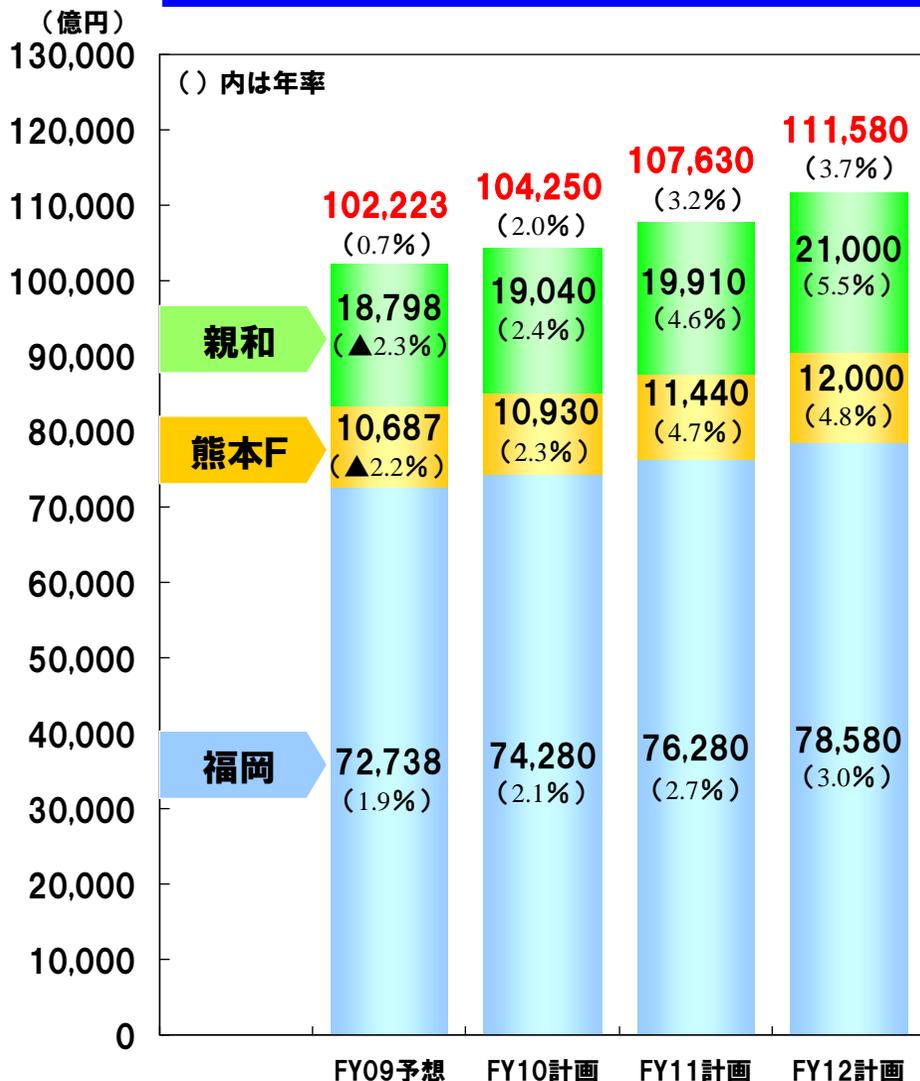
## 3行合算（平残）



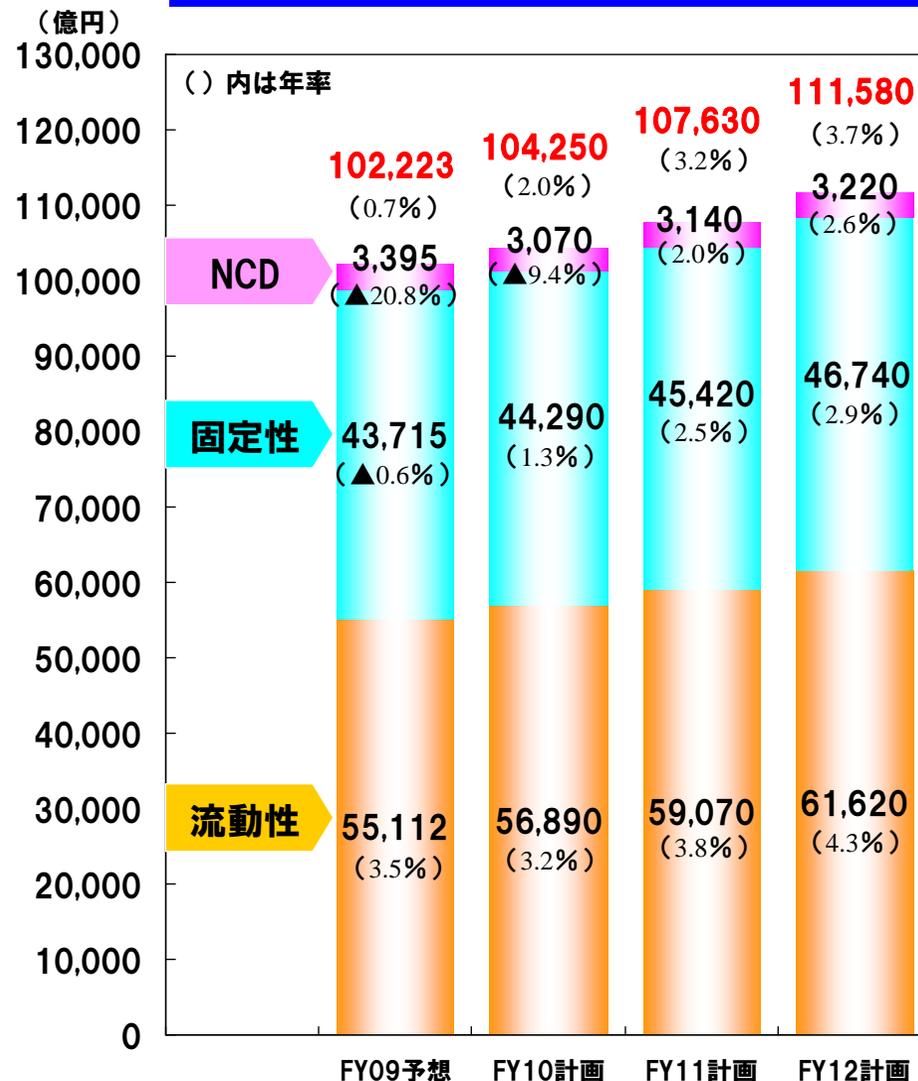
## 3行合算（セグメント別）



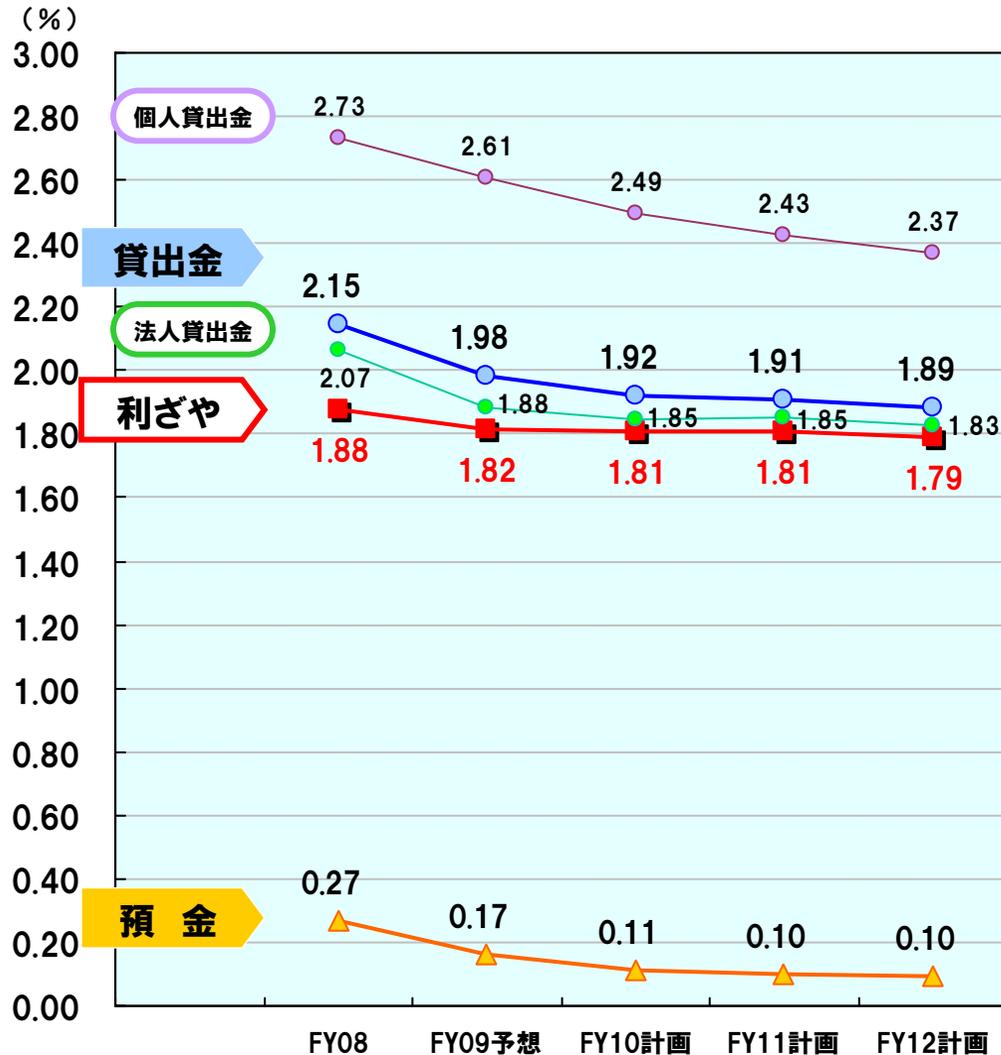
## 銀行別（平残）



## 固定・流動性別（平残）



## 3行合算

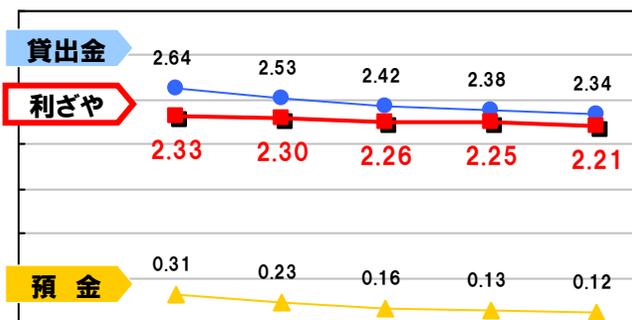


## 銀行別

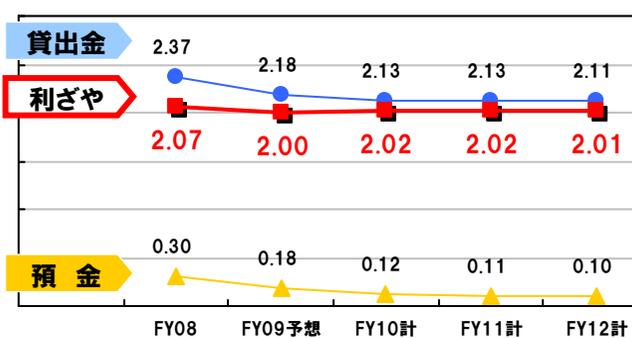
### 福岡銀行



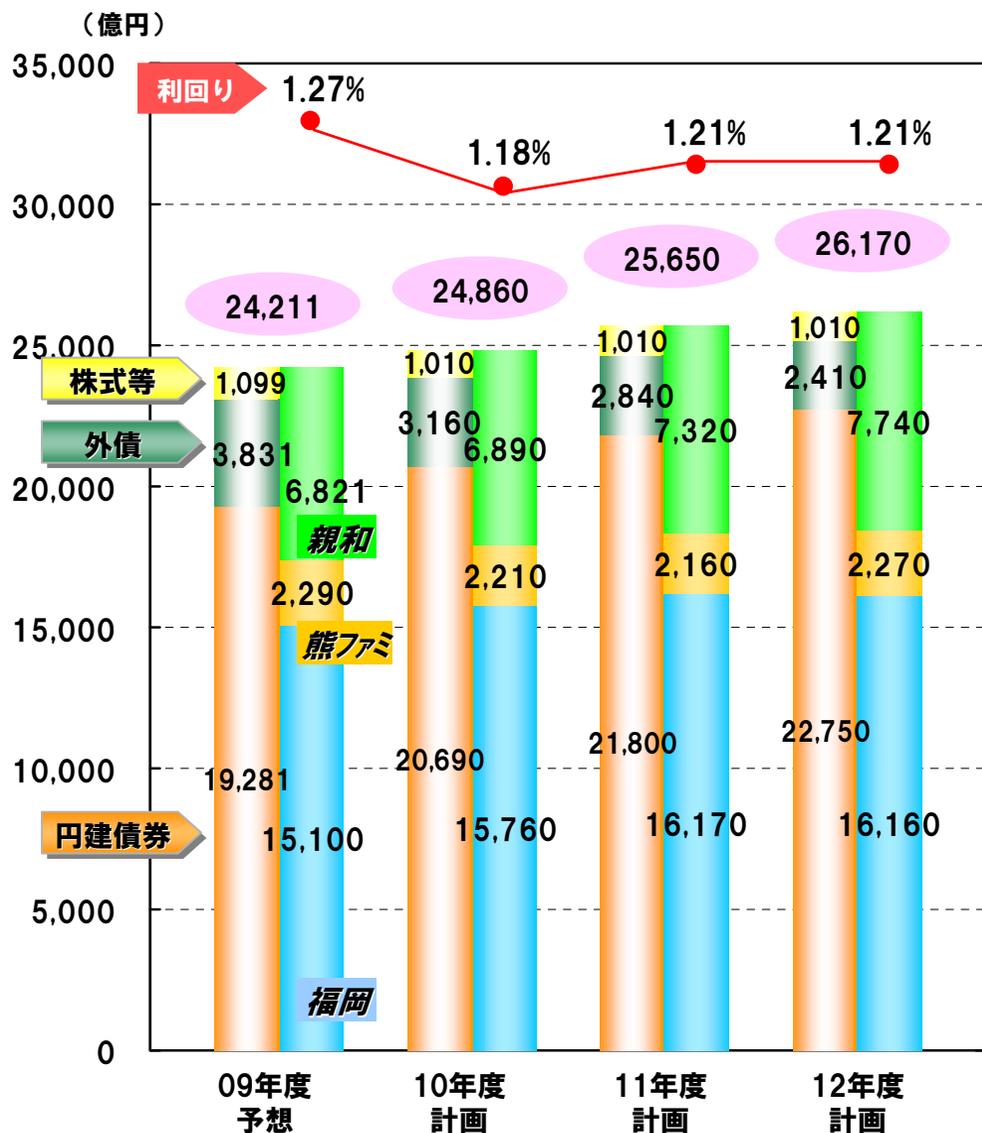
### 熊本F銀行



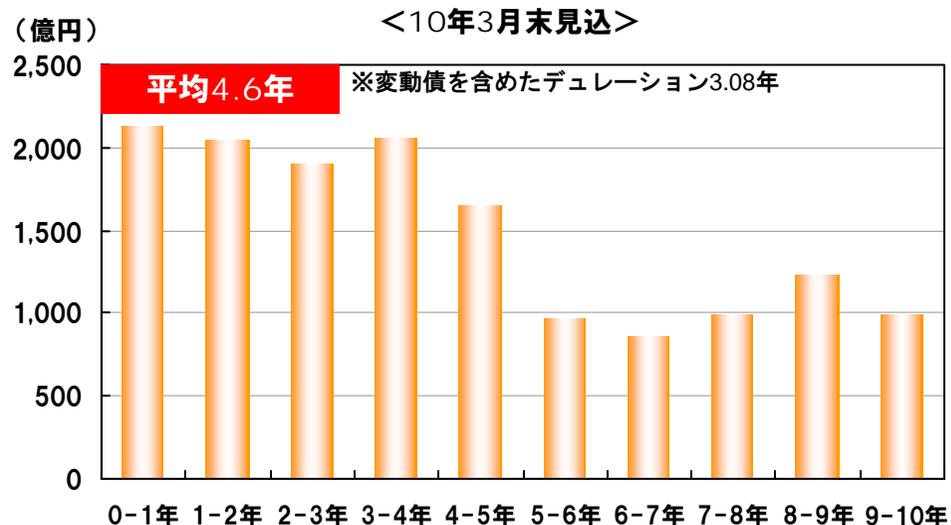
### 親和銀行



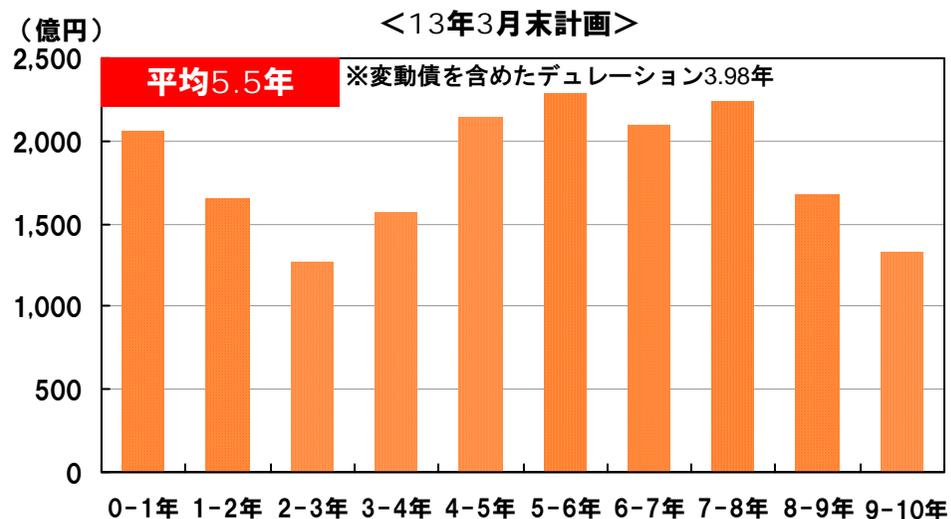
## 有価証券ポート（3行合算）



## FFG円建債券年限別ポート（固定債のみ）



### 金利リスクテイク

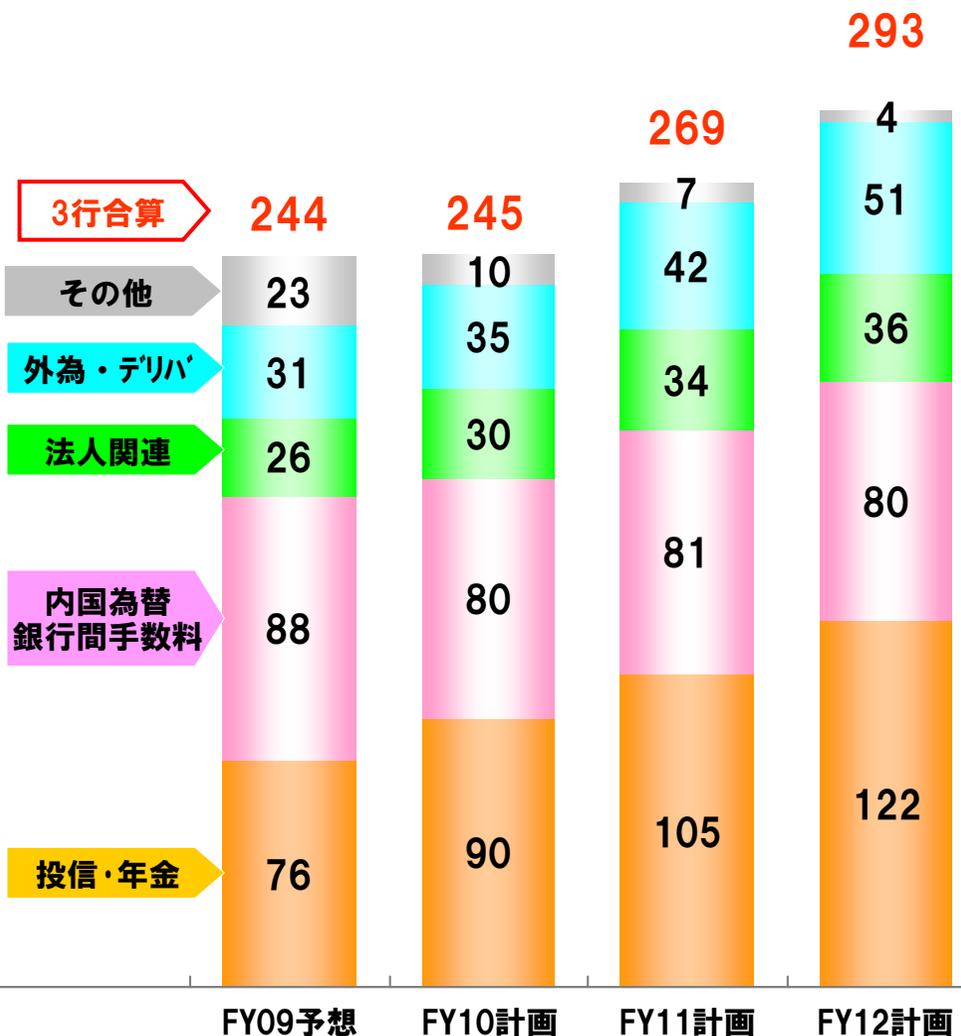


# 非金利収益計画

## 非金利収益額（3行合算）

（億円）

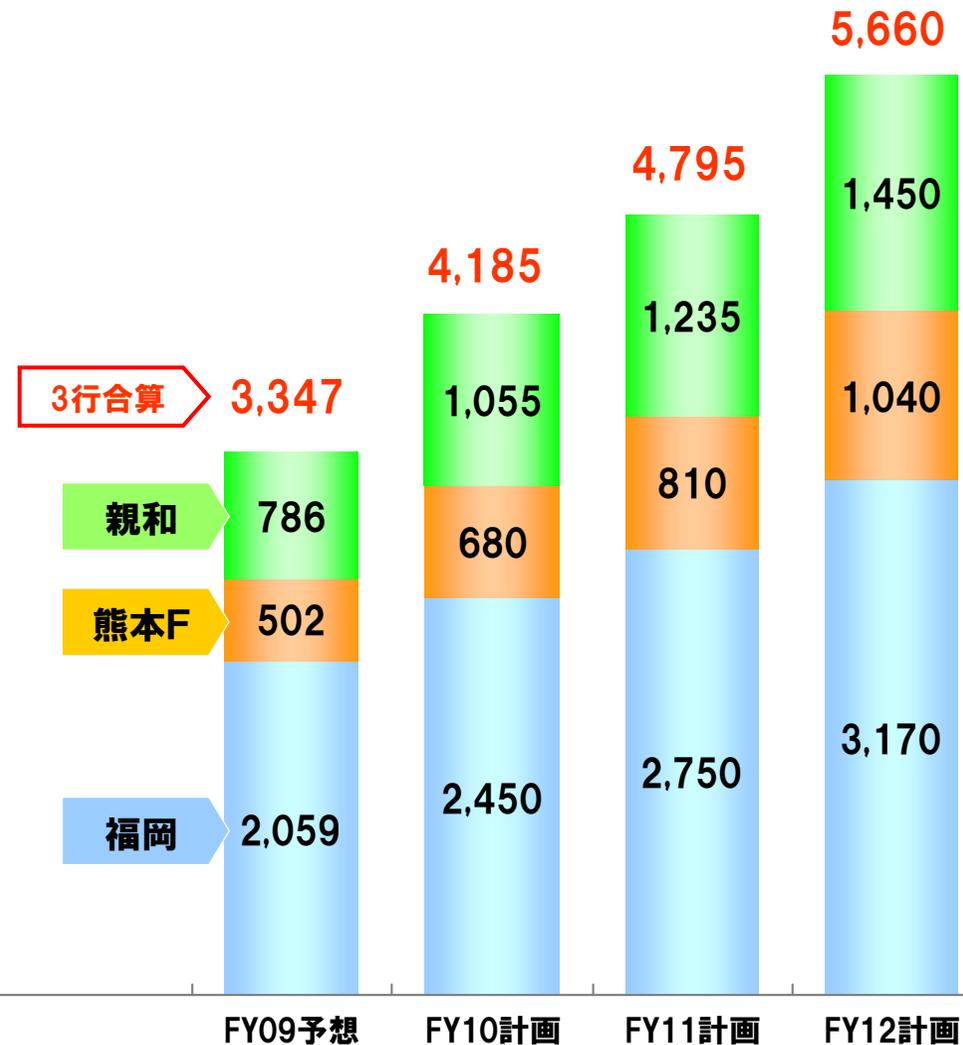
※国債等債券・市場性商品等関連損益を除く



## 資産運用商品販売額（銀行別）

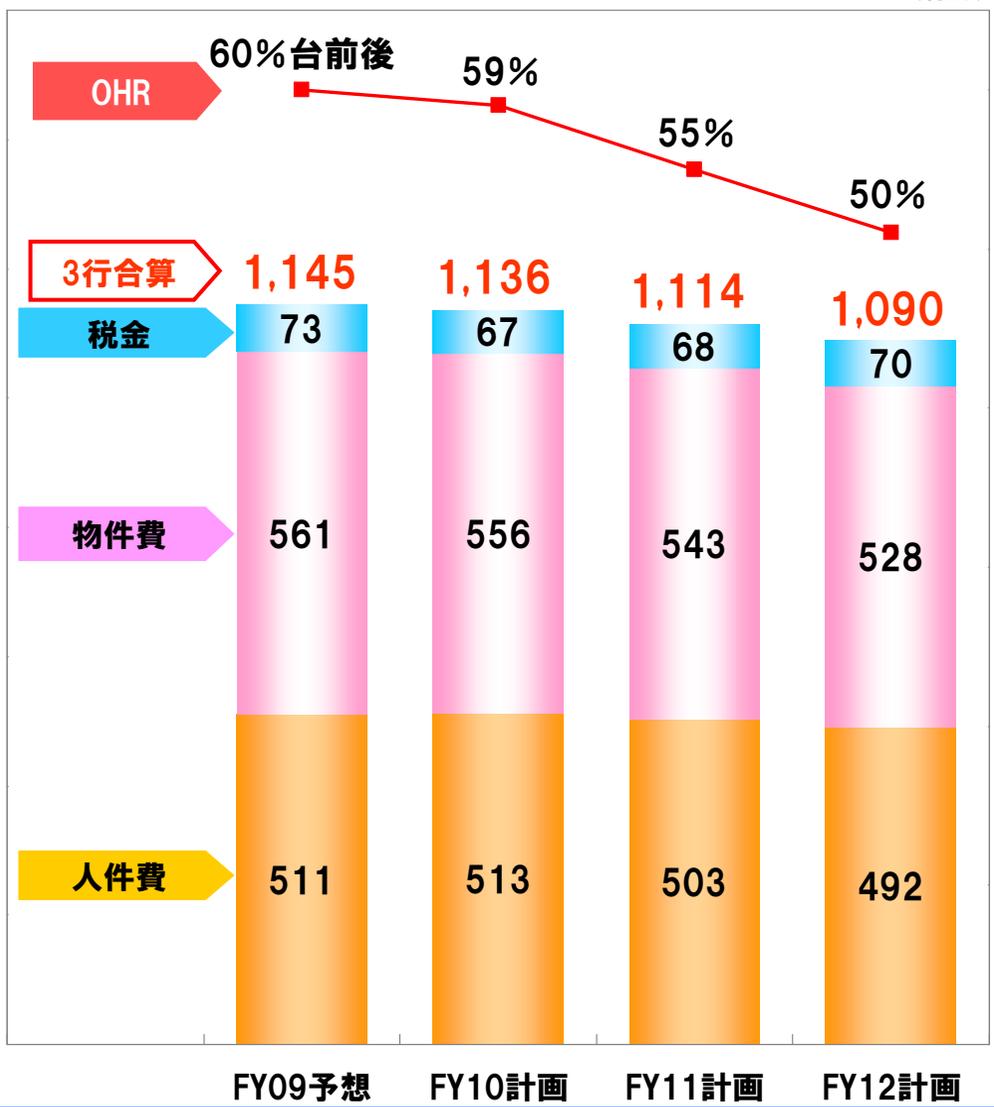
（億円）

※投資信託+年金保険+外貨定期+公共債



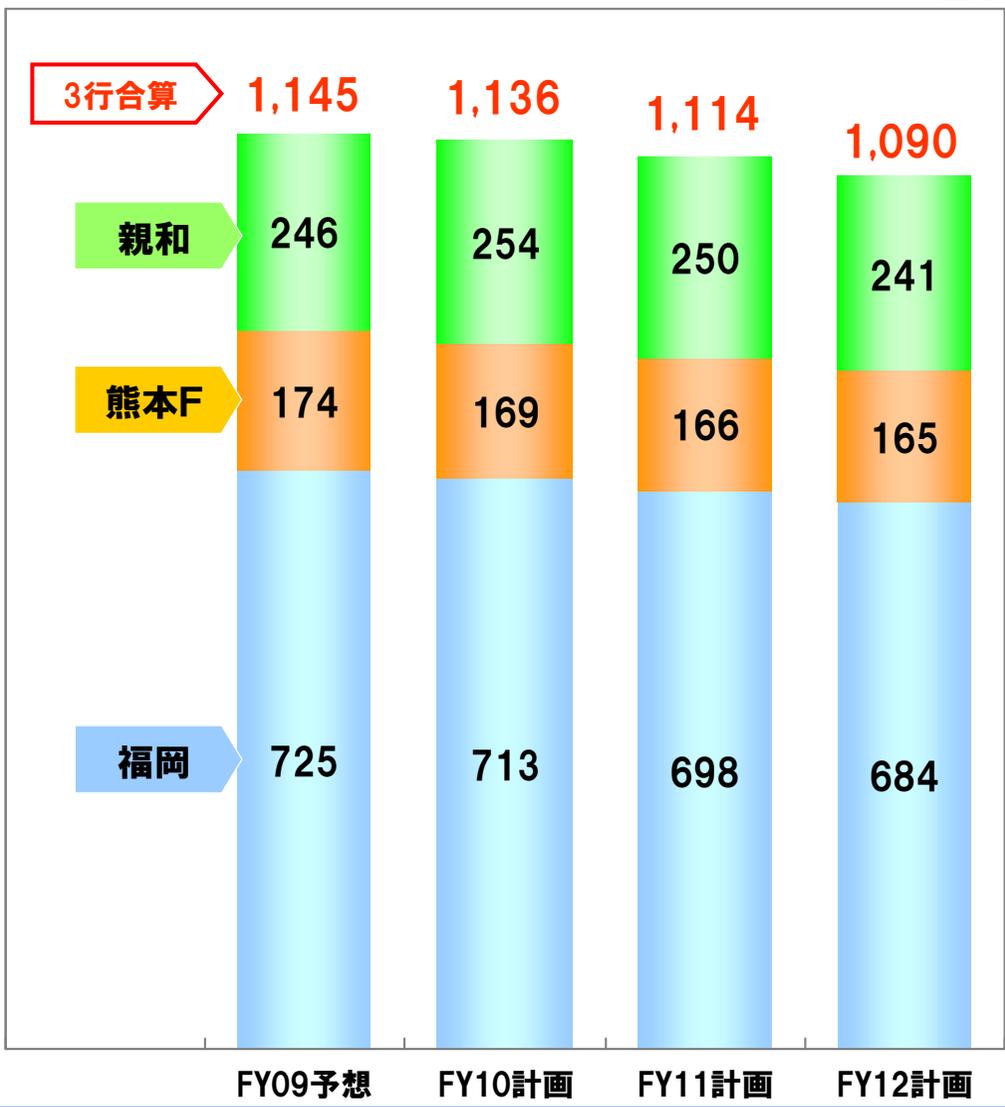
## 3行合算（費目別）

(億円)

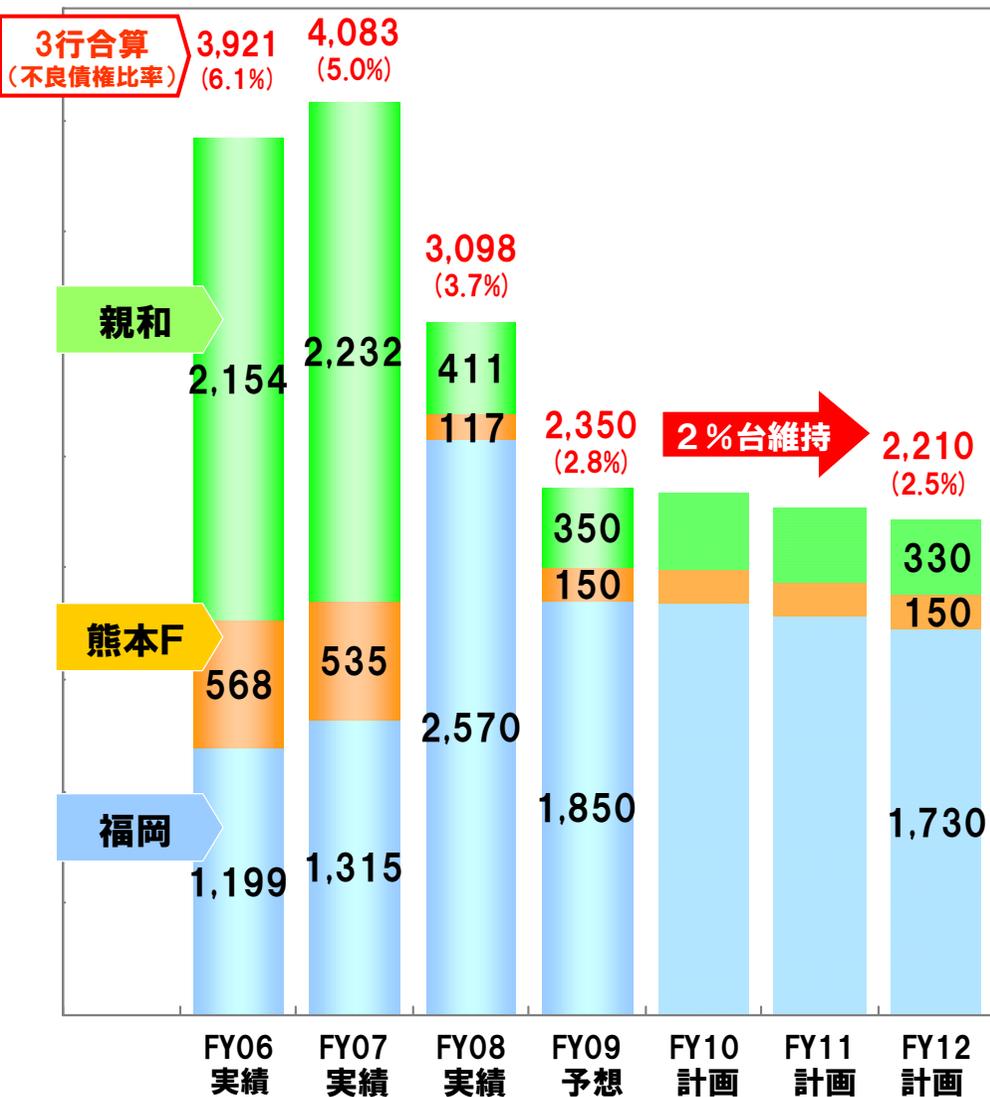


## 3行合算（銀行別）

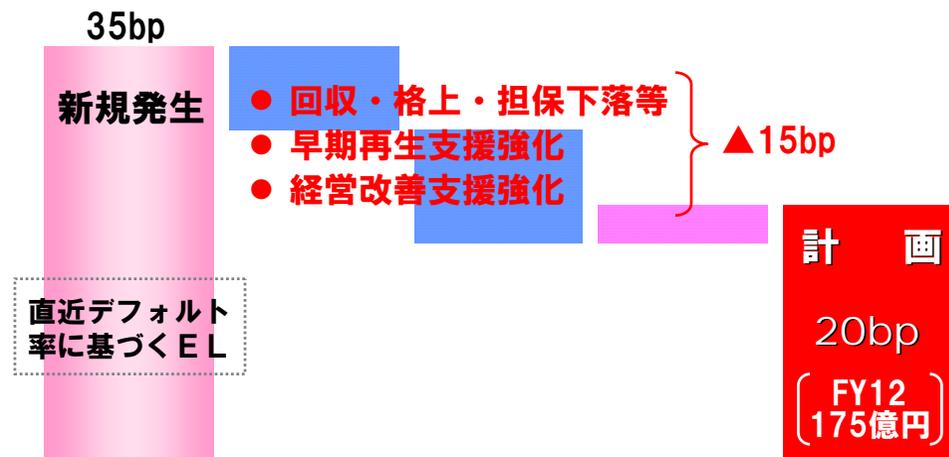
(億円)



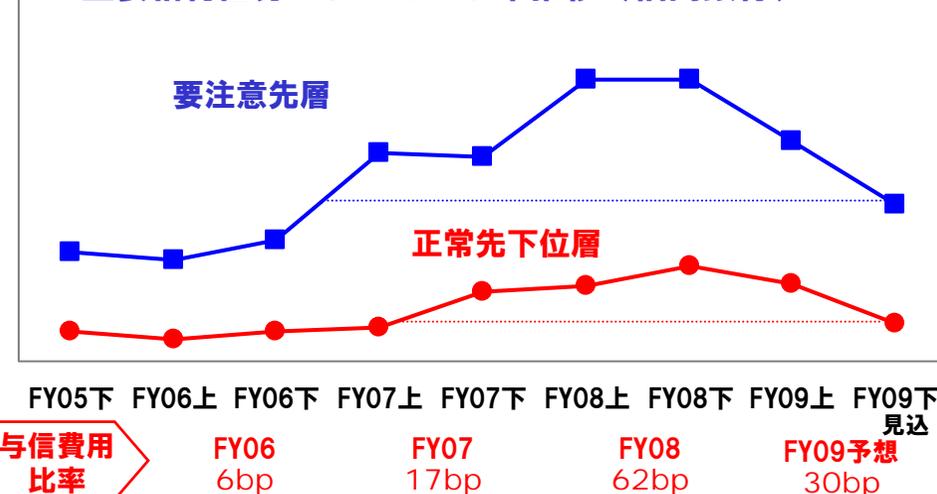
## 不良債権残高・比率（3行合算）



## 信用コスト



## ■ 主要格付区分のデフォルト率推移（福岡銀行）



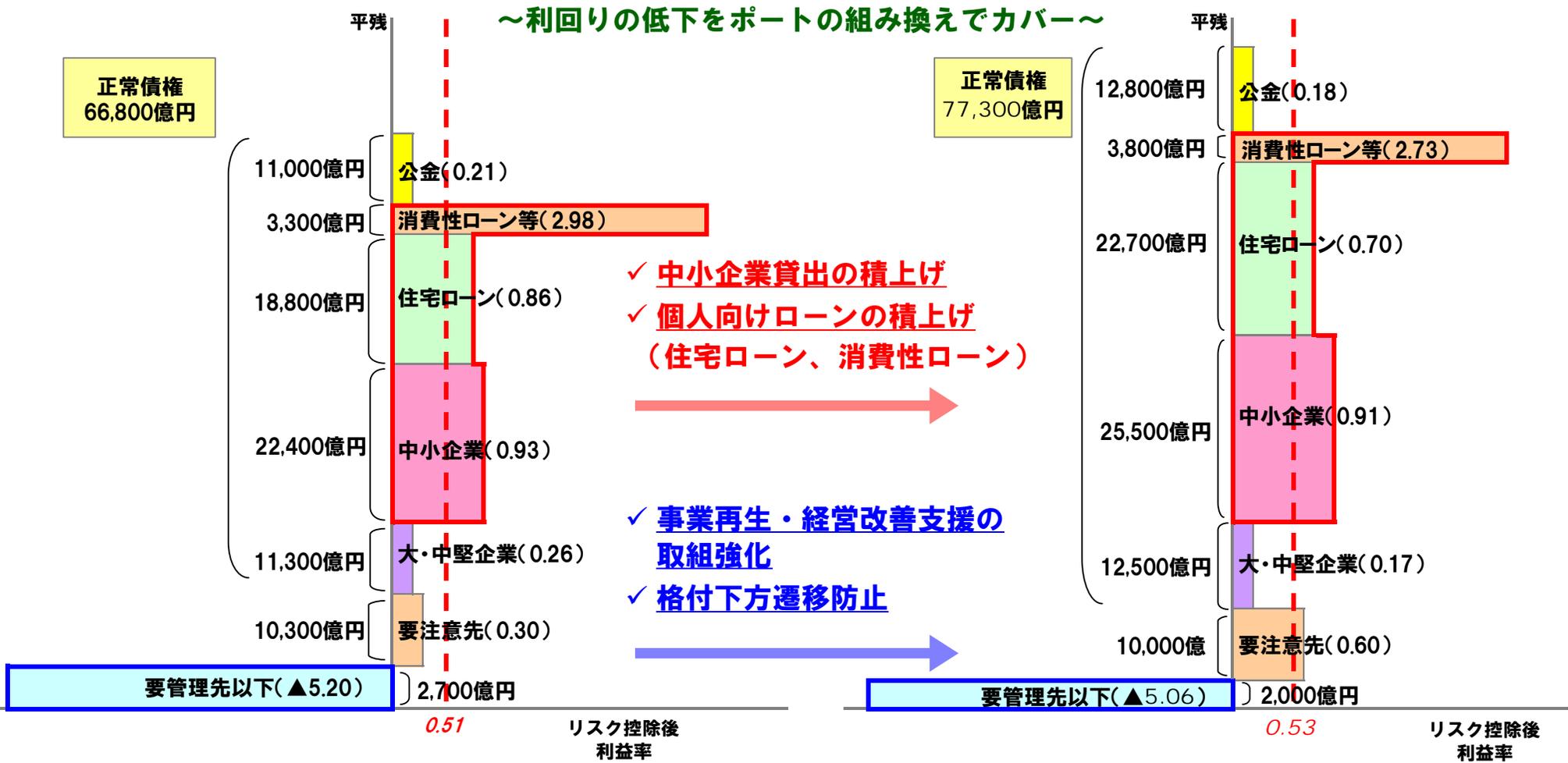
# 安定収益資産の積上げ

## 現 状 (2009年度見込み)

リスク控除後利益率：0.51%  
(貸出金利回り：1.98%)

## 中計最終年度 (2012年度)

リスク控除後利益率：0.53%  
(貸出金利回り：1.89%)



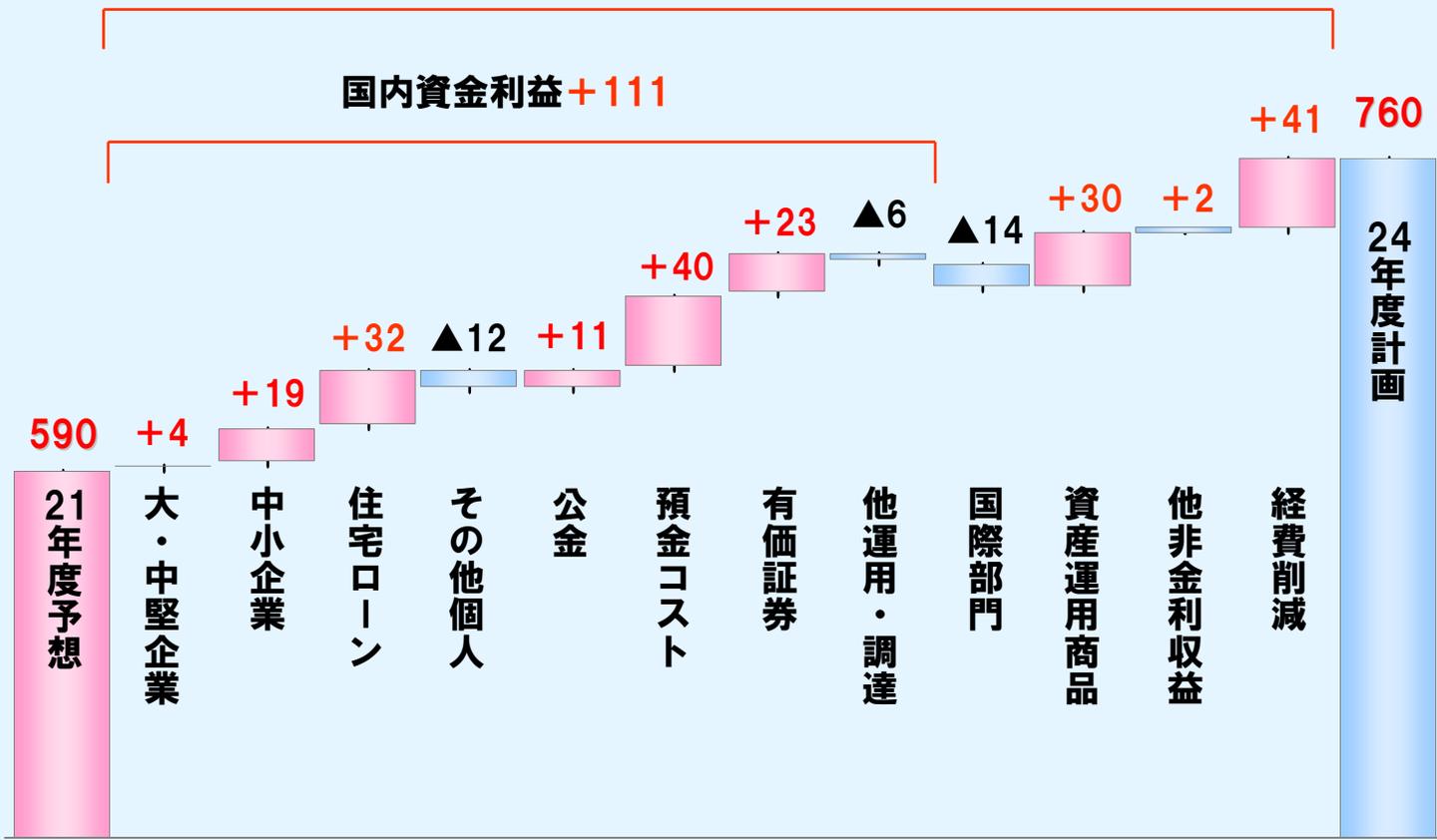
# Part III

## 計数資料

## コア業務純益増減

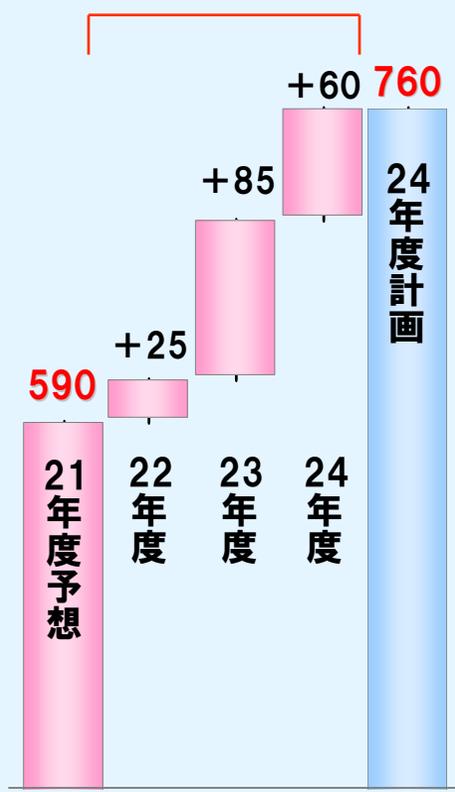
コア業務純益 +170

国内資金利益 +111



## 年度別積上げ額

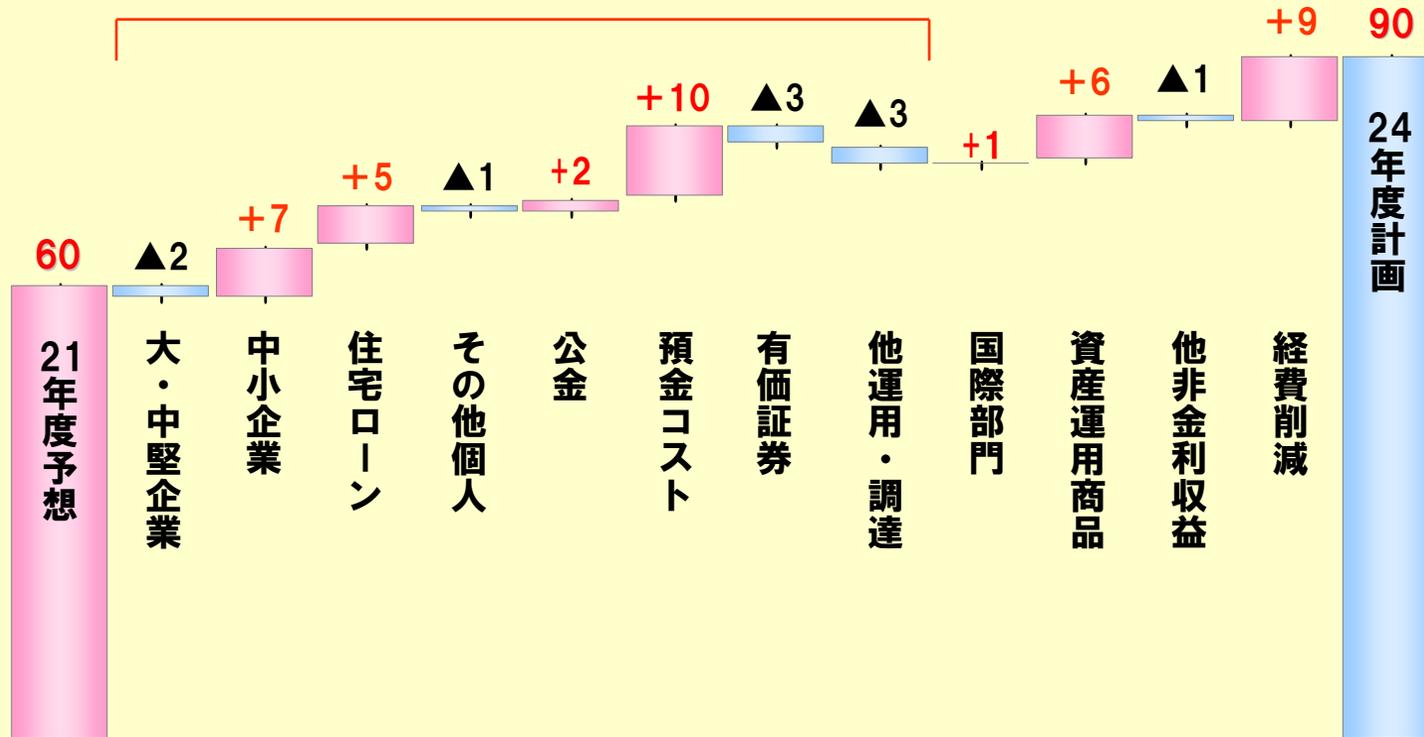
+170



## コア業務純益増減

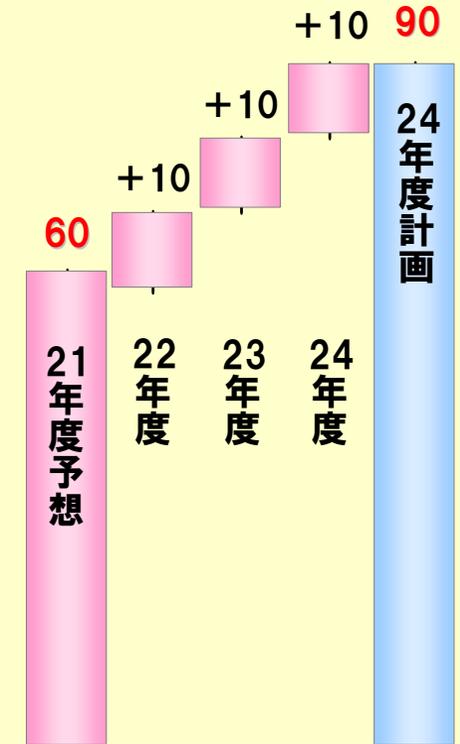
コア業務純益 +30

国内資金利益 +15



## 年度別積上げ額

+30

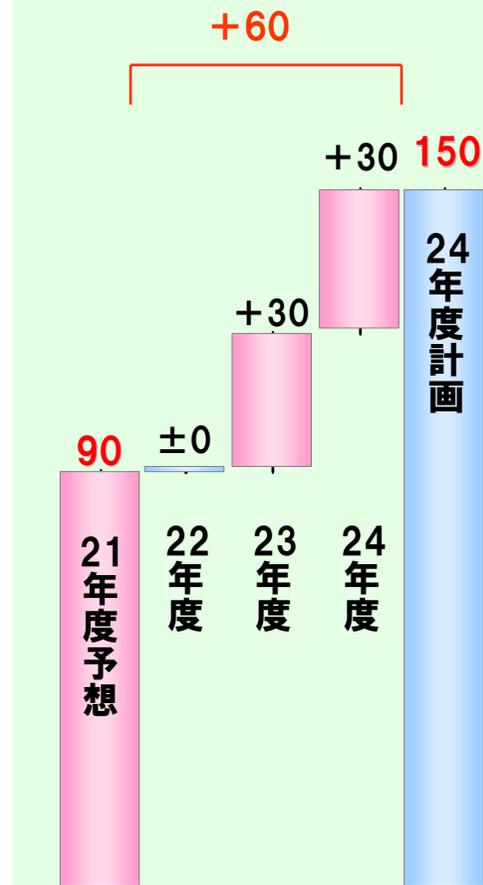
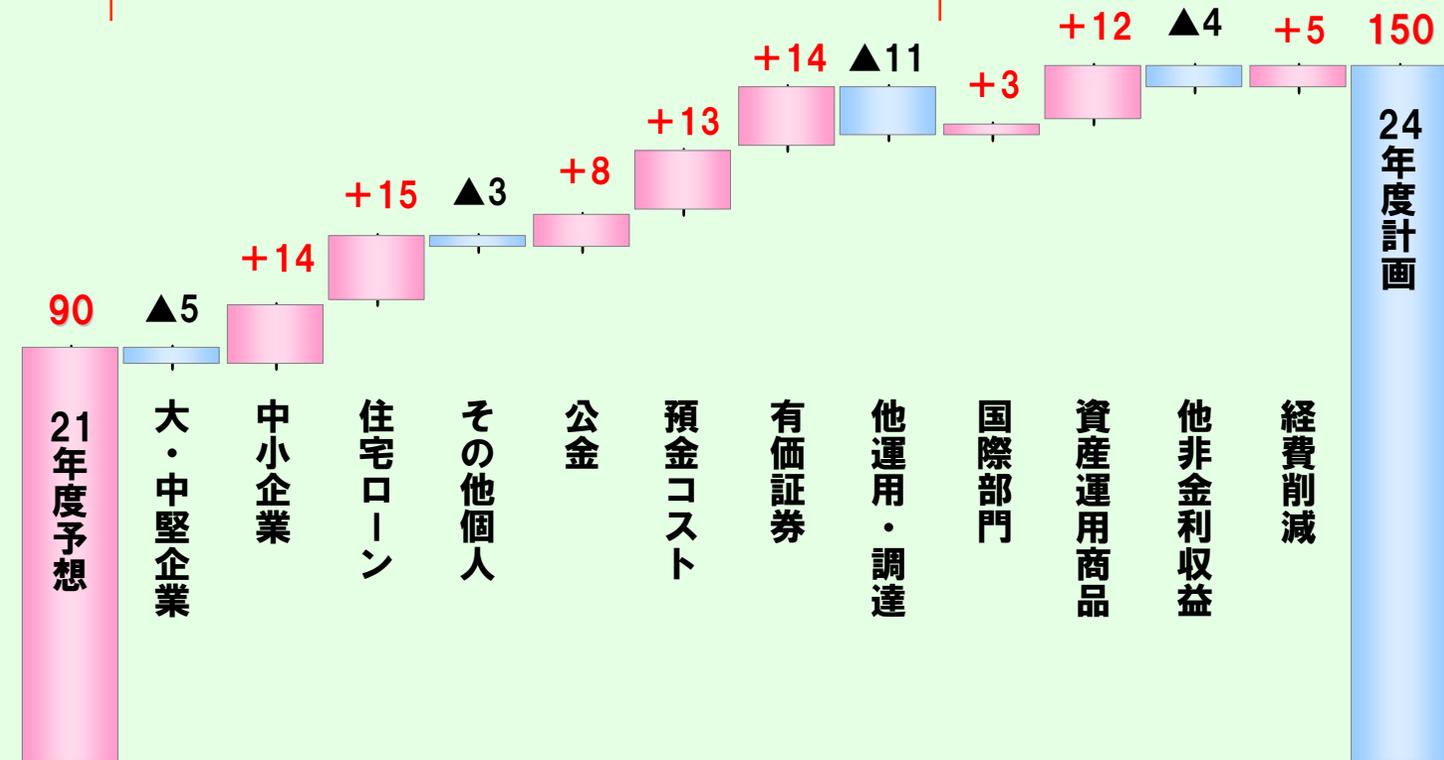


## コア業務純益増減

## 年度別積上げ額

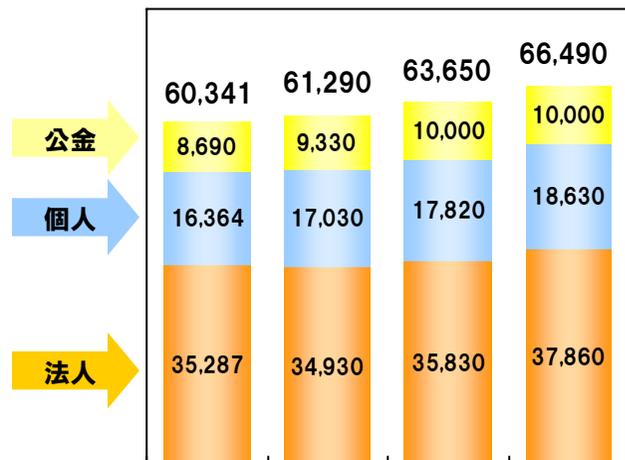
コア業務純益 +60

国内資金利益 +45



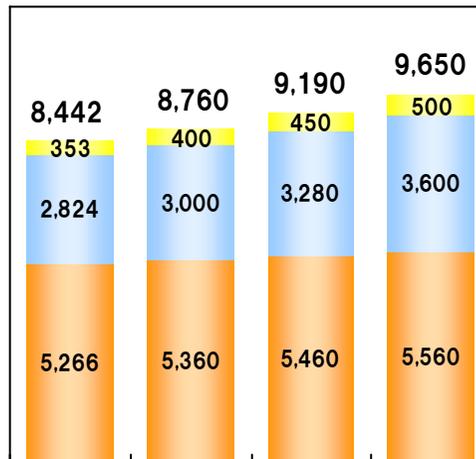
# 国内貸出金計画

## 福岡銀行



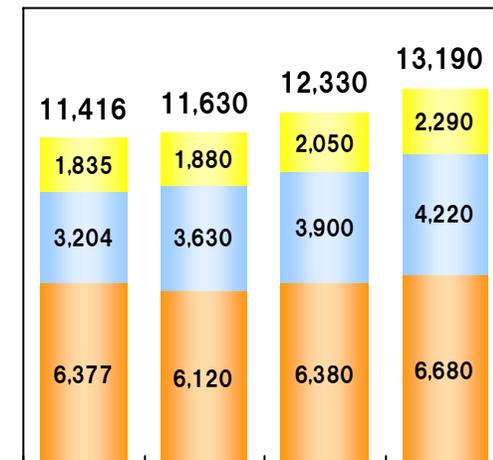
FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

## 熊本ファミリー銀行



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

## 親和銀行



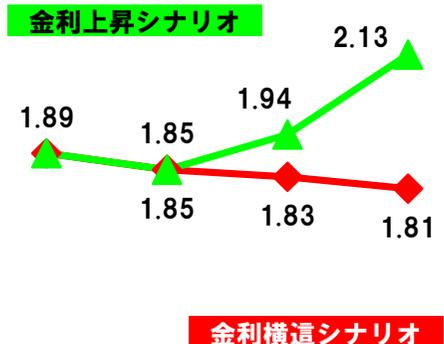
FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

セグメント別平残計画

(億円)

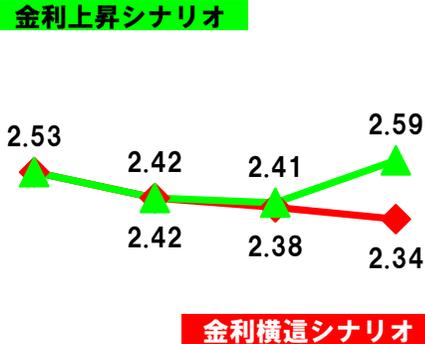
貸出金利回り計画

(%)

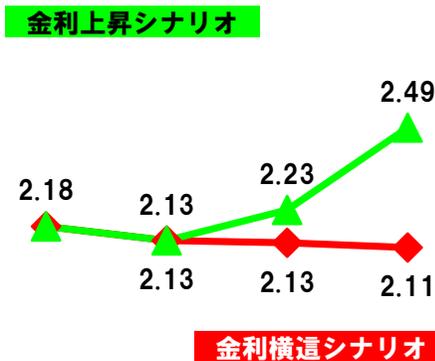


FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

※FFG向け貸出金除く



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

※劣後受益権除く

科目別平残計画

(億円)

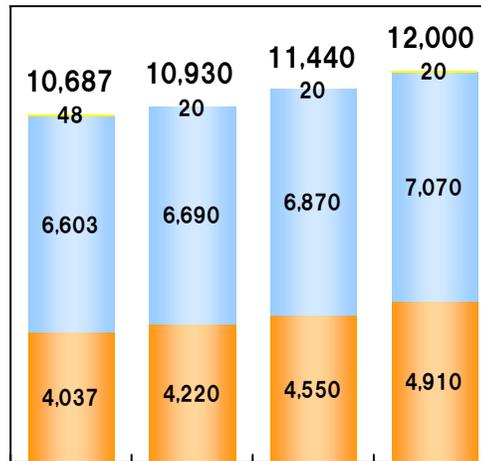
NCD  
固定性預金  
流動性預金

## 福岡銀行



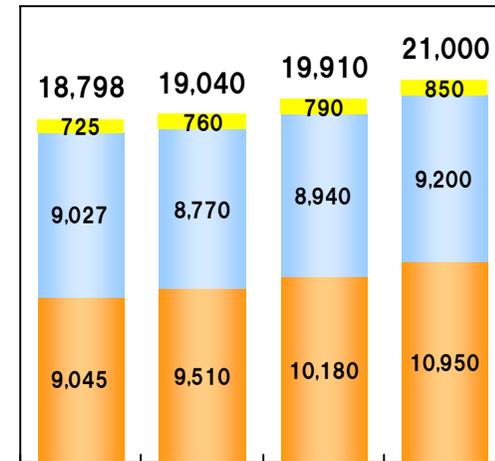
FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

## 熊本ファミリー銀行



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

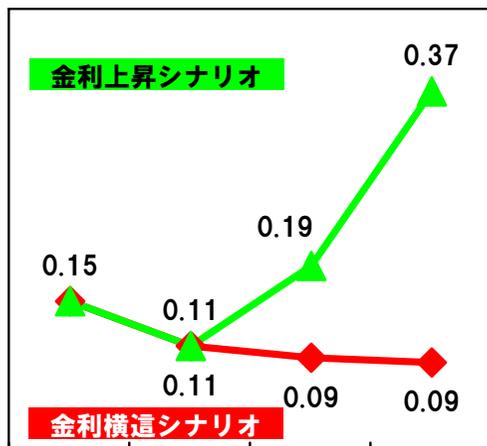
## 親和銀行



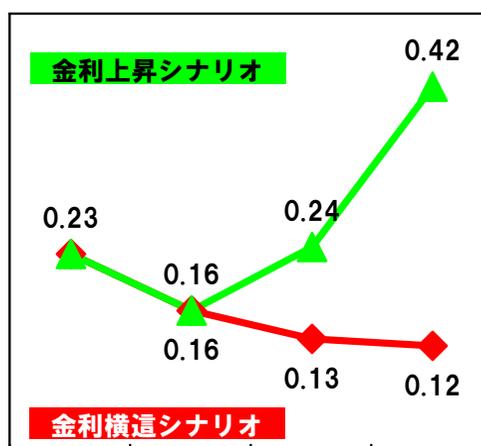
FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

預金利回り計画

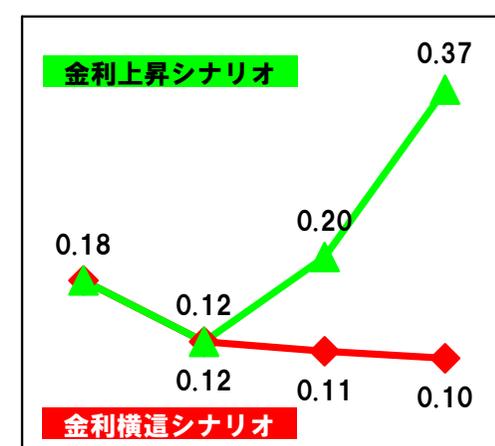
(%)



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

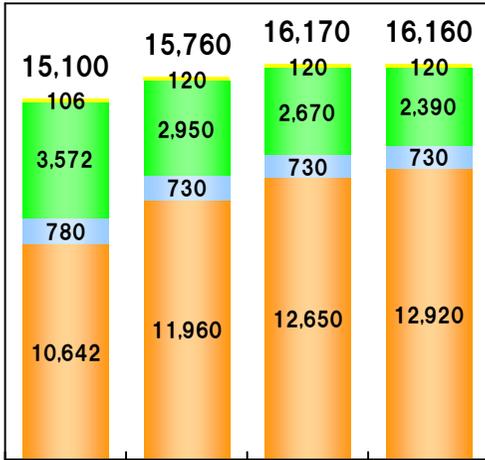


FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

有価証券平残計画  
(億円)

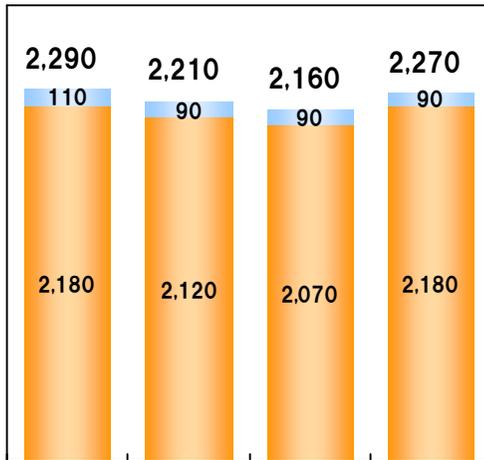


## 福岡銀行



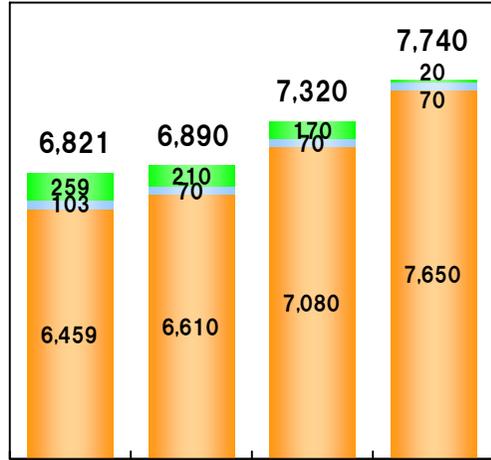
FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

## 熊本ファミリー銀行



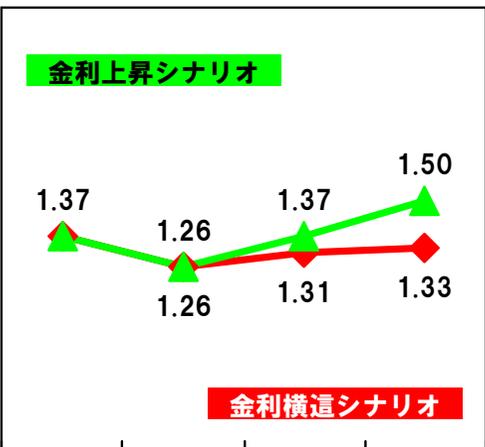
FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

## 親和銀行

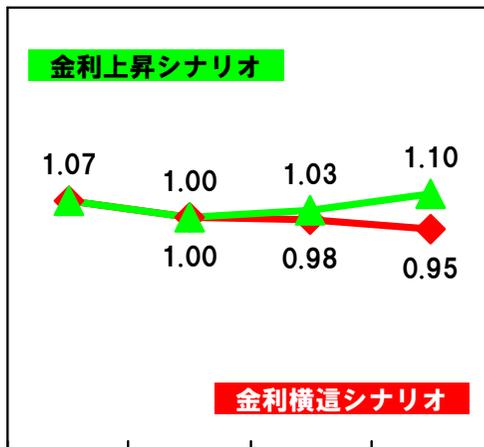


FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

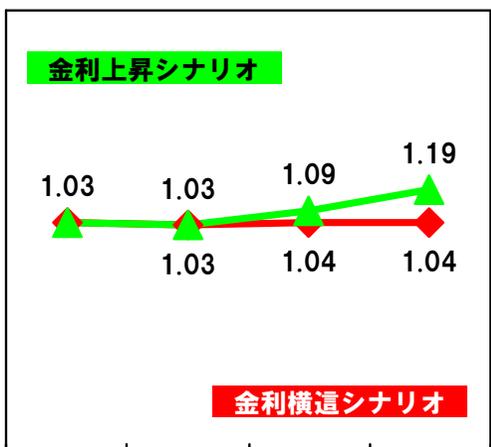
平均利回り計画  
(%)



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画



FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

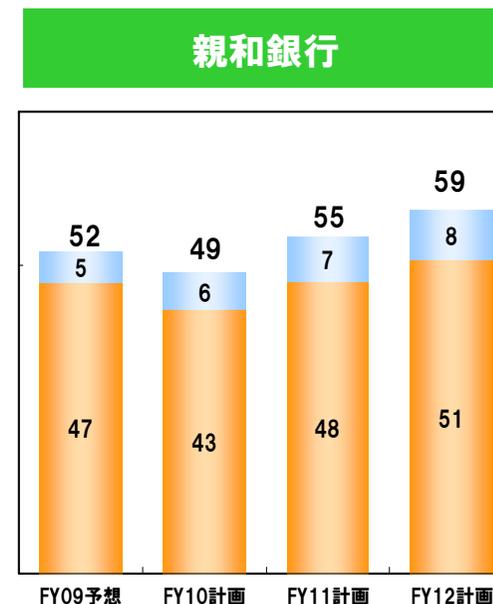
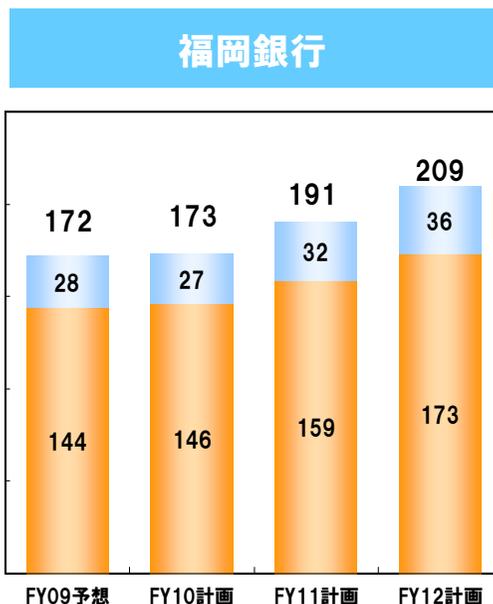


FY09予想 FY10計画 FY11計画 FY12計画

# 非金利収益計画

非金利収益計画  
(億円)

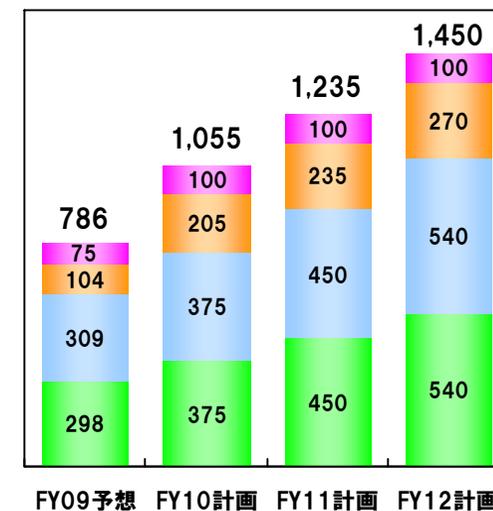
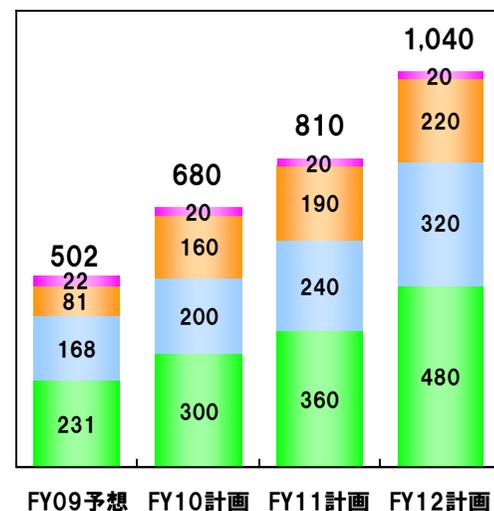
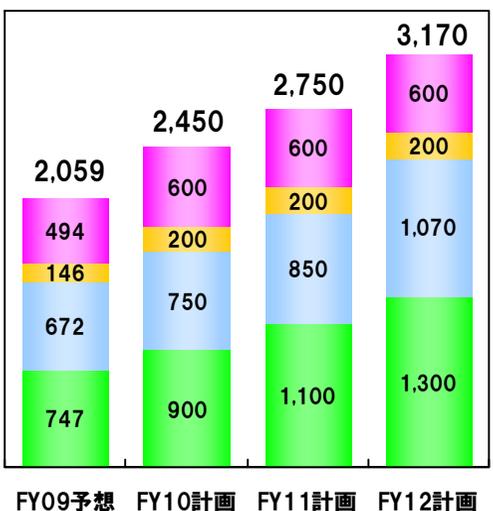
その他・特定  
役務



※国債等債券・市場性商品等関連損益を除く

資産運用商品販売計画  
(億円)

公共債  
外貨定期  
保険  
投信

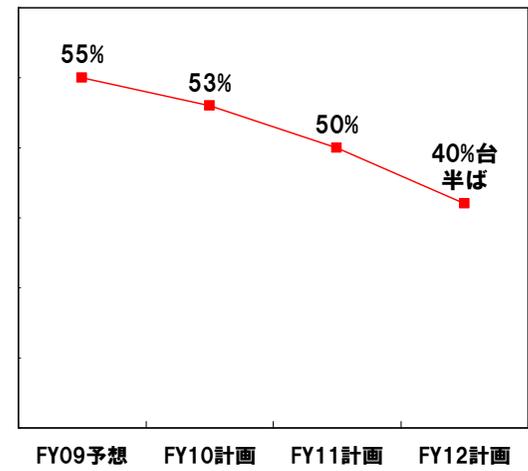
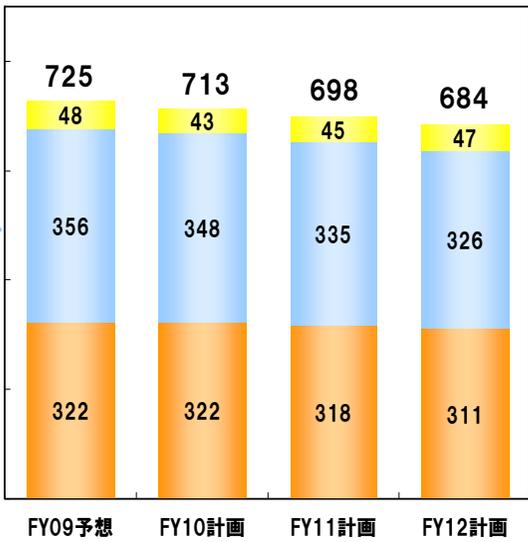


# 経費計画

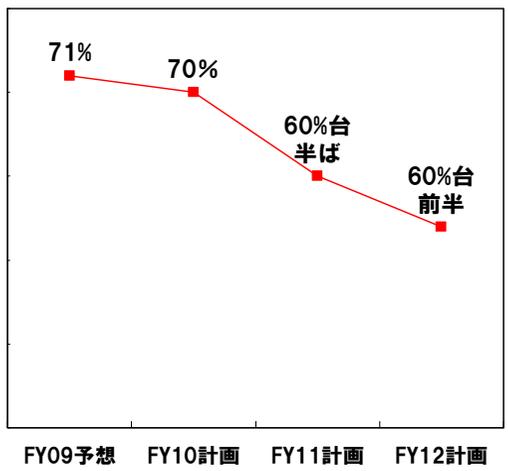
経費計画  
(億円)

コアOHR  
(%)

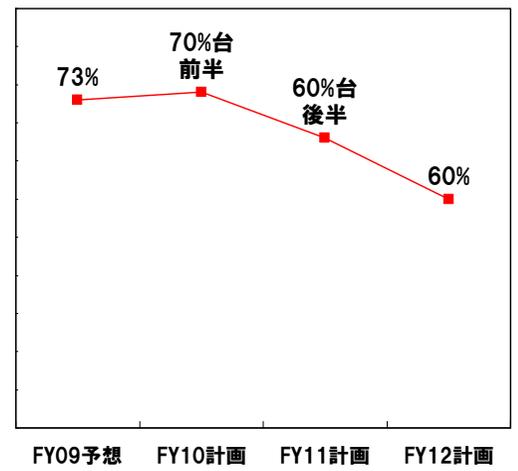
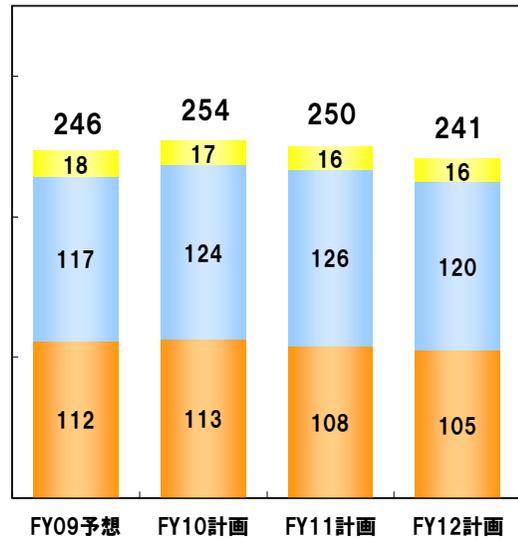
### 福岡銀行



### 熊本ファミリー銀行



### 親和銀行



※コアOHR = 経費 ÷ 業務粗利益 (国債等債券損益を除く)

# 信用コスト・不良債権

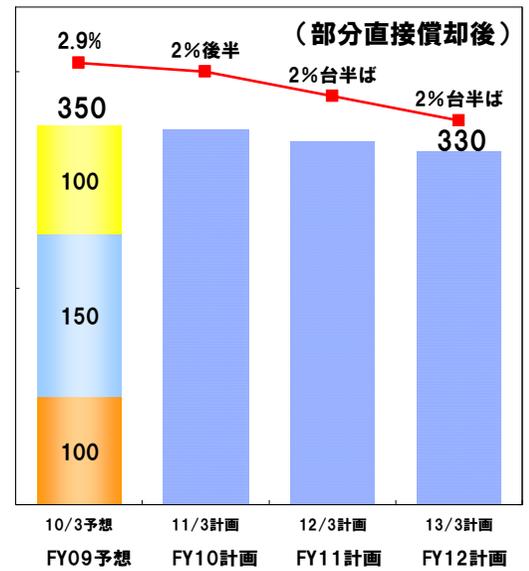
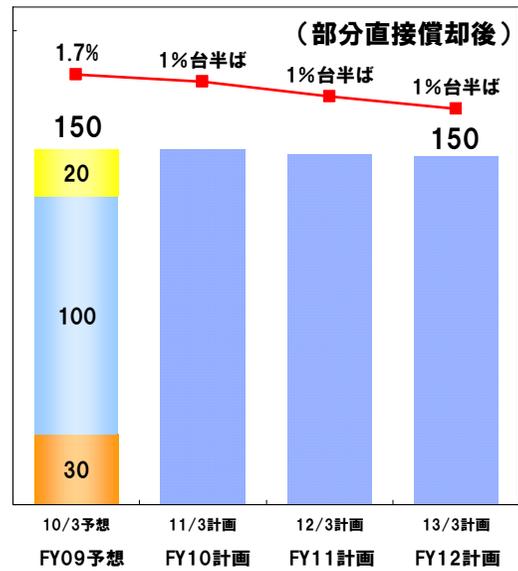
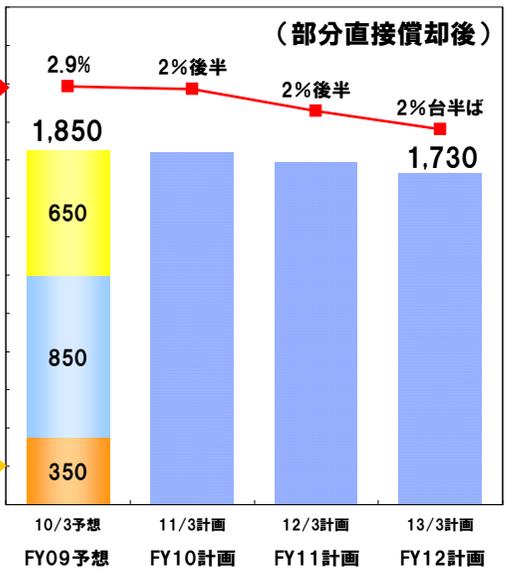
## 福岡銀行

## 熊本ファミリー銀行

## 親和銀行

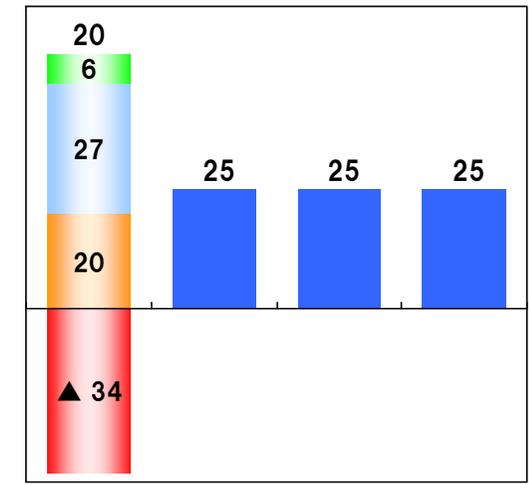
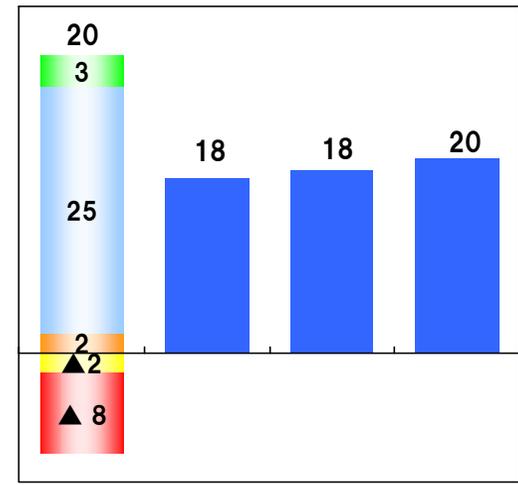
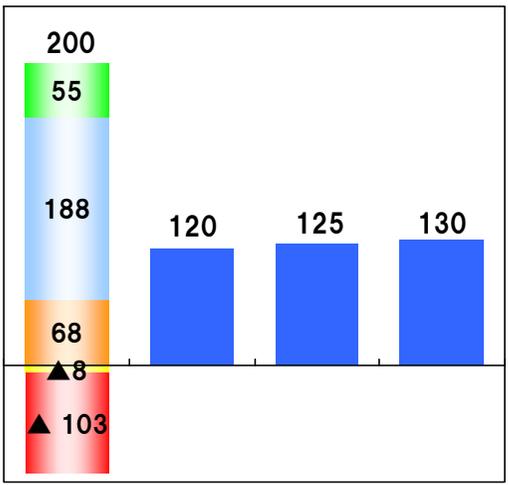
不良債権残高・比率  
(億円)

- 不良債権比率
- 要管理債権
- 危険債権
- 破産更正債権



信用コスト  
(億円)

- 担保下落
- 格付変動
- 新規倒産
- その他
- 回収等



# Part IV

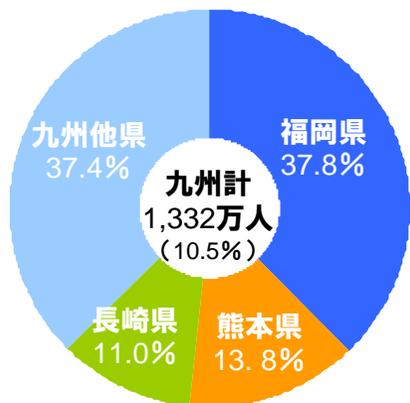
参考資料

# 九州のマクロポテンシャル

※円グラフ（ ）内の%は、全国に占める九州の割合

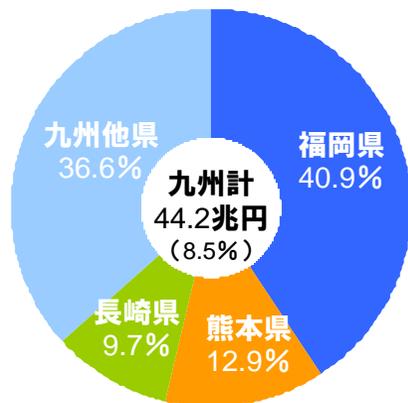
人口（2008年）

全国 12,707万人



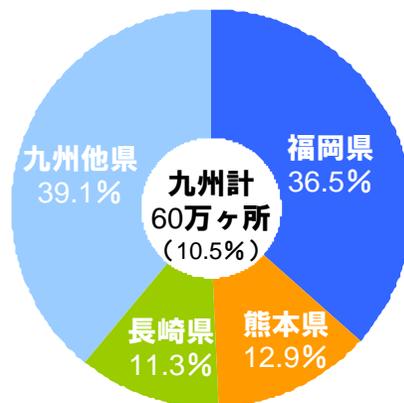
県内総生産（2006年度）

全国 519兆円



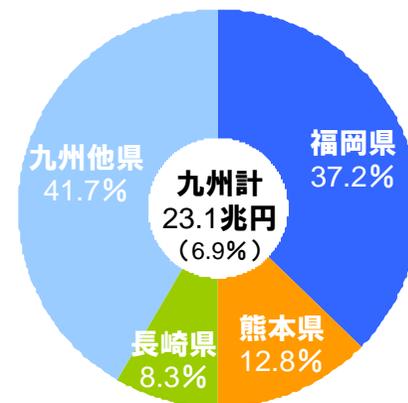
事業所数（2006年）

全国 572万ヶ所



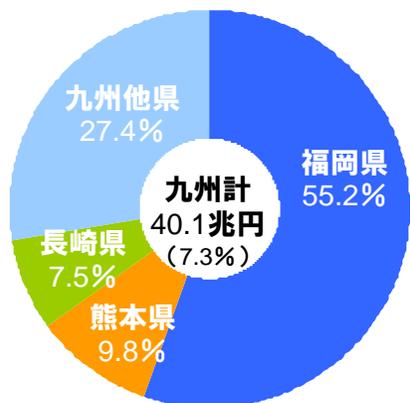
製造品出荷額（2007年）

全国 337兆円



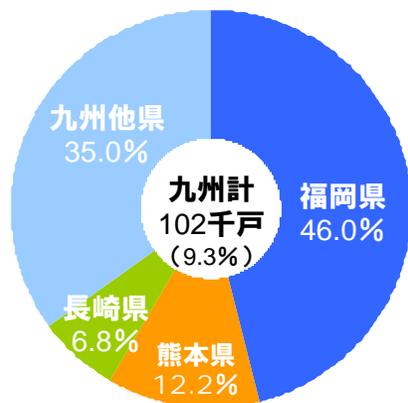
商業販売額（2007年）

全国 548兆円



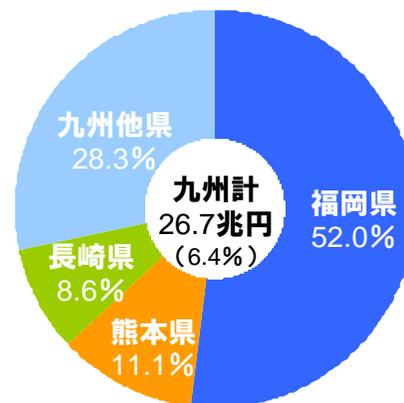
新設住宅着工数（2008年）

全国 1,093千戸



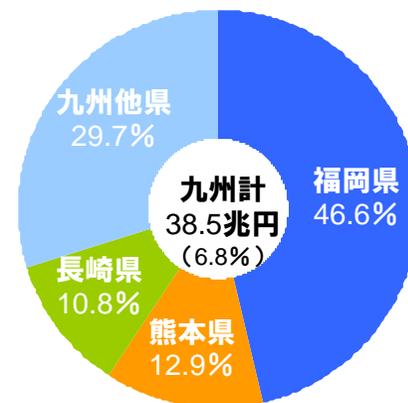
銀行貸出金末残（2009/12）

全国 4,166兆円



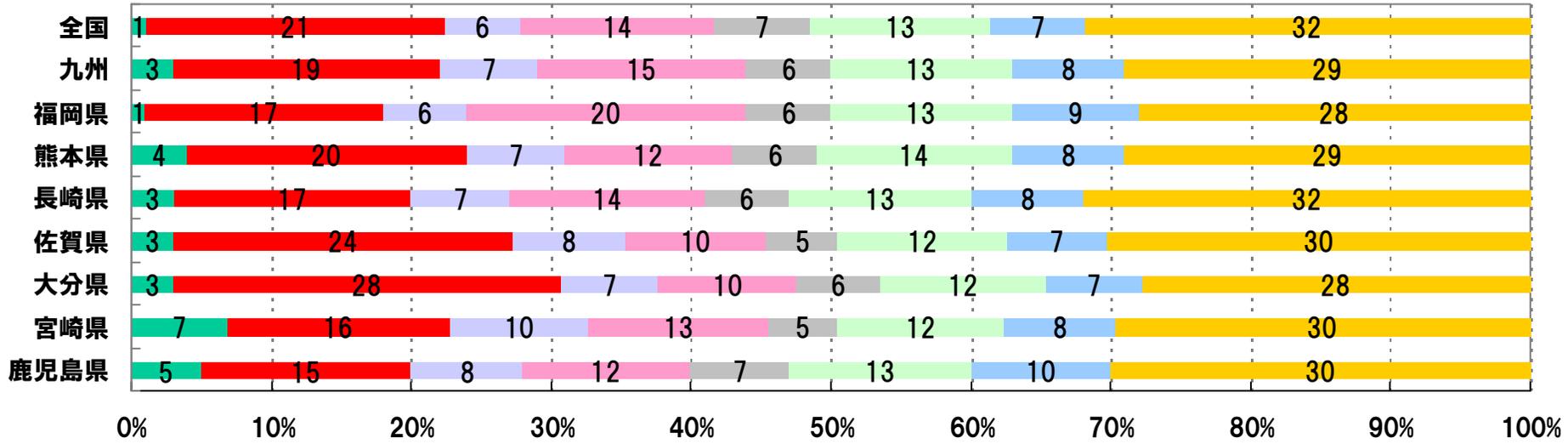
銀行預金末残（2009/12）

全国 5,672兆円

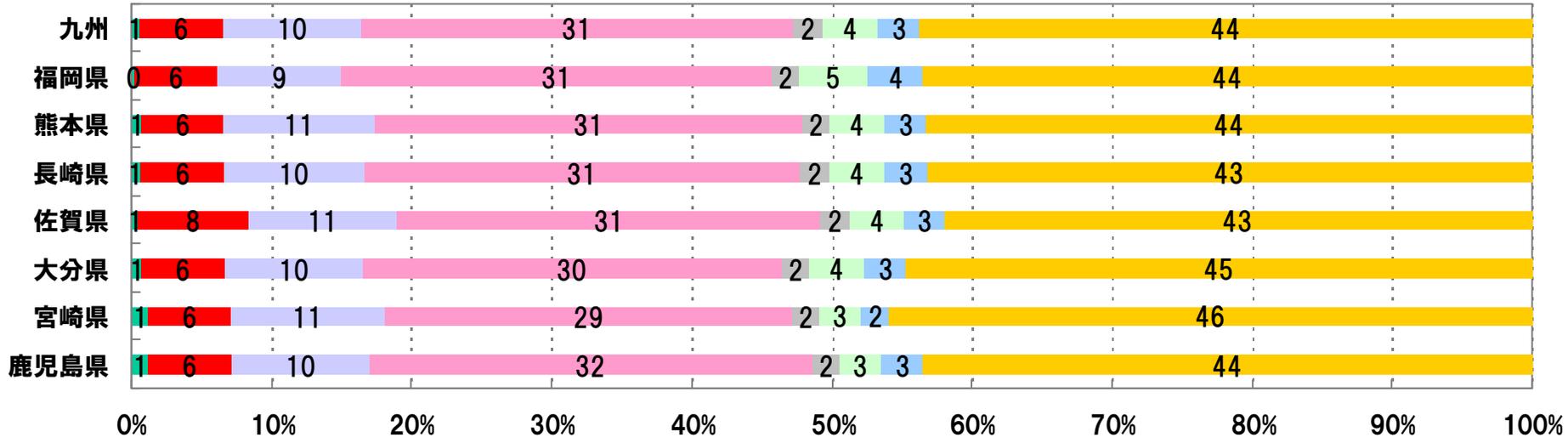


# 九州の産業構造

## ■ 県内総生産ベース



## ■ 事業所ベース



■ 農林水産   
 ■ 製造   
 ■ 建設   
 ■ 卸・小売   
 ■ 金融保険   
 ■ 不動産   
 ■ 運輸・通信   
 ■ 他サービス

出所：内閣府、総務省

# 九州の域内ネットワーク

## 九州各都市間の移動時間

福岡を起点に発達した交通ネットワーク  
九州新幹線の全線開通で更に交流が活発化へ



九州新幹線鹿児島ルート  
2011年3月全線開通

- 公共交通機関を利用した移動時間
- 赤字は九州新幹線全線開通後

## 九州圏内のヒト・モノの流れ

福岡県を中心にヒト・モノが活発に交流

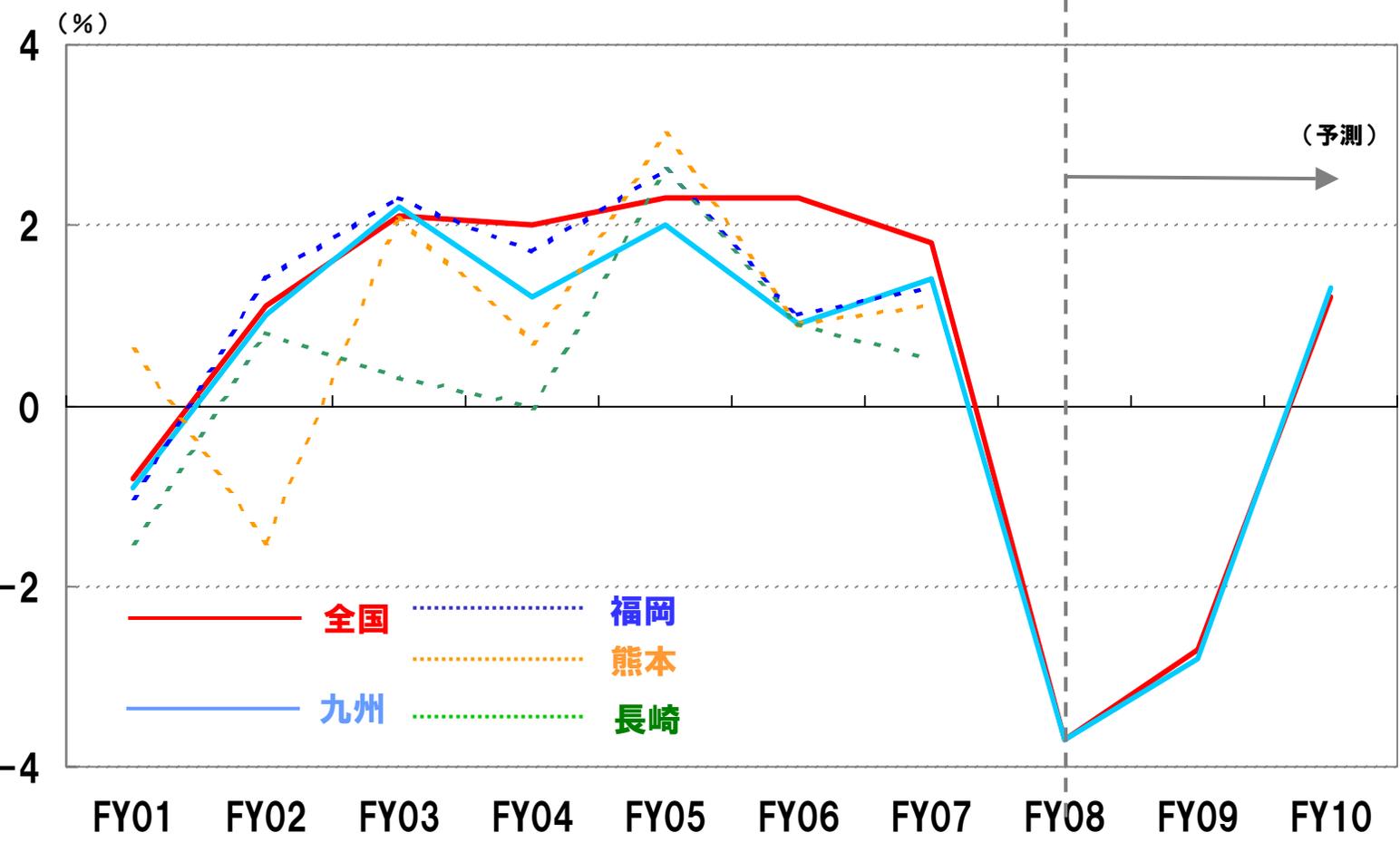
	ヒト (旅客)	モノ (貨物)
福岡県	9,744万人	1,890万トン
熊本県	4,559万人	1,673万トン
長崎県	1,846万人	785万トン
佐賀県	5,119万人	1,355万トン
大分県	3,116万人	1,061万トン
宮崎県	3,116万人	1,059万トン
鹿児島県	2,577万人	1,103万トン

● 九州他県から1年間に流入した数字

出所：西日本新聞社「九州データブック2009」

# 九州の景気動向

- 2009年度の九州経済は、設備投資と住宅投資の大幅な減少で2年連続のマイナス成長となる見込みであるが、外需の回復に伴う生産の持ち直しでマイナス幅は縮小しており、2009年1～3月期が景気の底と見られる。
- 2010年度は、外需の堅調な回復に加え、政策効果による消費押し上げや設備投資と住宅投資の下げ止まりで緩やかな回復基調を辿り、3期ぶりのプラス成長が見込まれる。



**九州経済の見通し**

**09年度成長率予測: ▲2.8%**  
**10年度成長率予測: +1.3%**

**消費:** 企業収益改善による所得環境好転と経済対策の効果が個人消費を押し上げ。

**設備投資:** 設備過剰感はピークアウトし、10年度後半から若干の投資が出始める。

**住宅投資:** 在庫調整が進み、減税やエコポイント等の政策効果でプラス転換。

**公共投資:** 公共事業の予算削減でマイナス転換。

**純輸出:** アジア諸国等の外需の持ち直しで緩やかに回復。

出所 全国・九州：九経調「2010年度九州経済見通し」、福岡・熊本・長崎：内閣府

- 地元3県含め九州各県の景気は、低水準ではあるが、持ち直しの動きが見られる。

	全国 (2月・月例経済報告)		福岡県 (2月・県内経済の動向)		熊本県 (2月・金融経済概観)		長崎県 (2月・金融経済概況)	
基調判断	景気は持ち直してきているが自立性に乏しく依然として厳しい状況		-	-	-	-	-	-
生産動向	持ち直している		持ち直している。		持ち直しの動きが強まっている		一部持ち直しが見られる	
設備投資	下げ止まりつつあるも弱い動きも見られる		前年度を下回る見通し		前年を大幅に下回るが一部に新たな投資に踏み切る動き		前年を下回る	
貿易	輸出は緩やかに増加、輸入は緩やかに持ち直している		輸出は横ばいで推移、輸入は低い水準が続いている		-	-	-	-
住宅投資	持ち直しの動きが見られる		下げ止まりの動きが見られるが依然低調に推移		依然低水準だが持ち直しの気配		下げ止まりの動き	
企業倒産	緩やかに減少している		緩やかに減少している		足許落ち着いた動き		前年を下回る	
雇用情勢	依然として厳しい		依然として厳しい状況		総じて厳しいが、改善に向けた動き		引き続き厳しい状況	
個人消費	持ち直しの動きが続いている		一部持ち直しているが全体としては弱い動き		弱い動きが続いているが一部持ち直しの動きが見られる		全体として弱い動きを続けている	

出所：内閣府

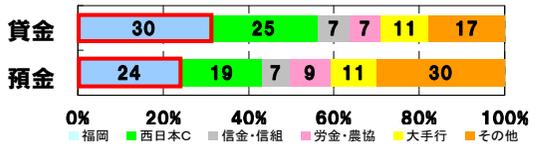
出所：ふくおかデータウェブ

出所：日本銀行 熊本支店

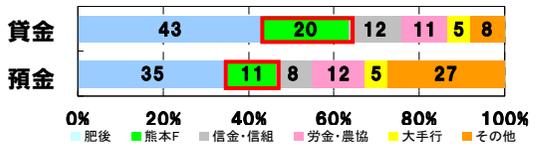
出所：日本銀行 長崎支店

# 九州の金融マーケット

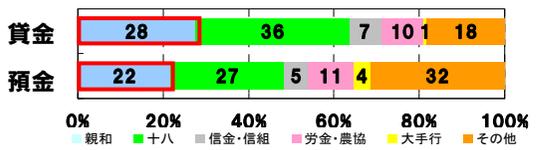
福岡県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	503万人	219千所	15.7兆円	28.4兆円



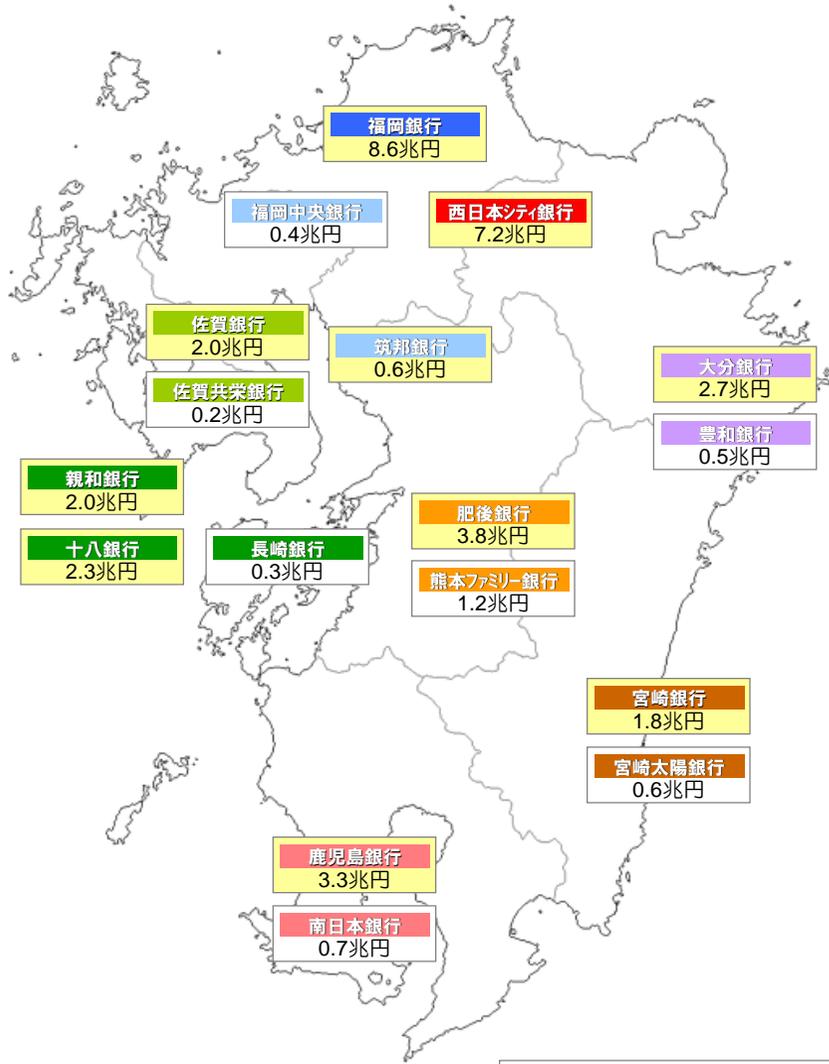
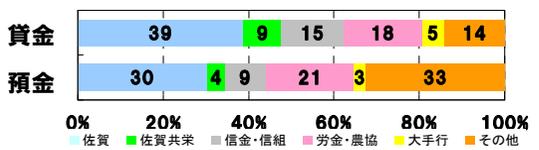
熊本県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	185万人	78千所	3.7兆円	8.9兆円



長崎県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	148万人	68千所	3.0兆円	7.1兆円

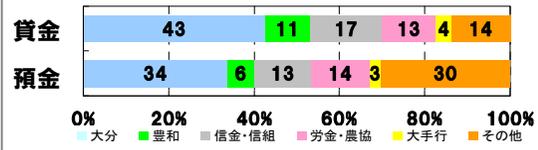


佐賀県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	87万人	40千所	1.6兆円	4.6兆円

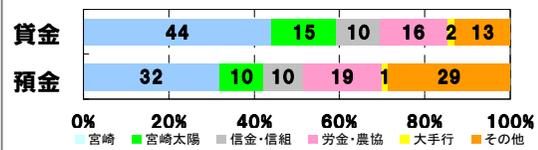


××銀行  
 ××兆円 ← 連結総資産 (09/9末)

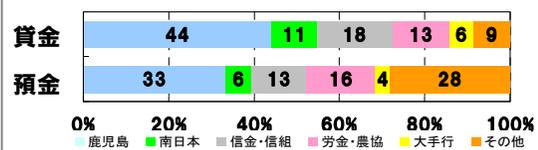
大分県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	122万人	57千所	3.0兆円	6.6兆円



宮崎県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	117万人	56千所	2.2兆円	4.9兆円



鹿児島県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	175万人	82千所	3.8兆円	8.0兆円

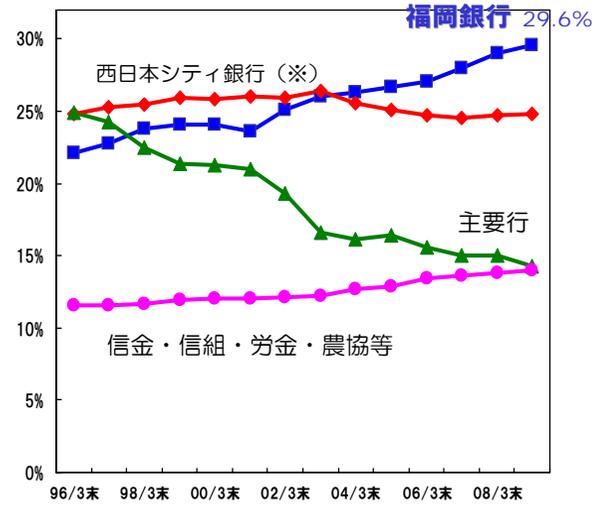


九州	人口	事業所	貸出金	預貯金
	1,337万人	600千所	33.1兆円	68.5兆円

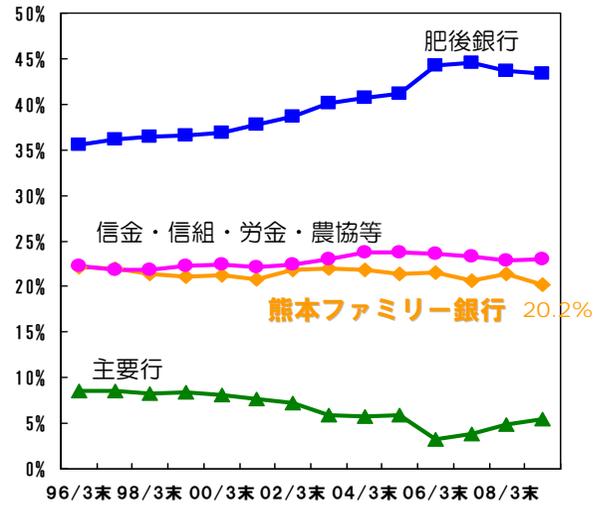
出所：九州データブック2009（西日本新聞社）  
 出所：月刊 金融ジャーナル

貸出金

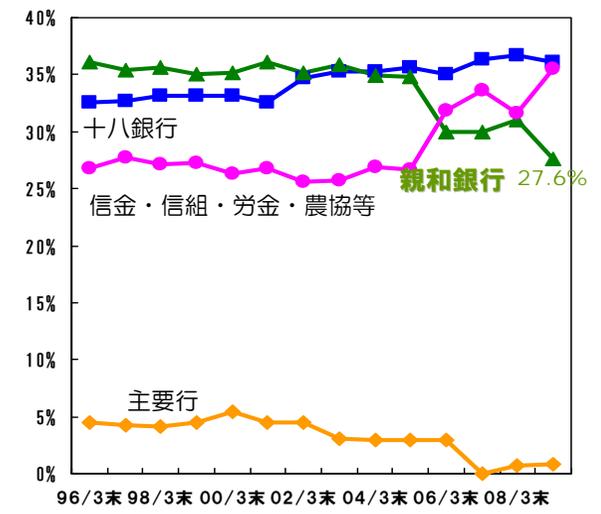
## 福岡県



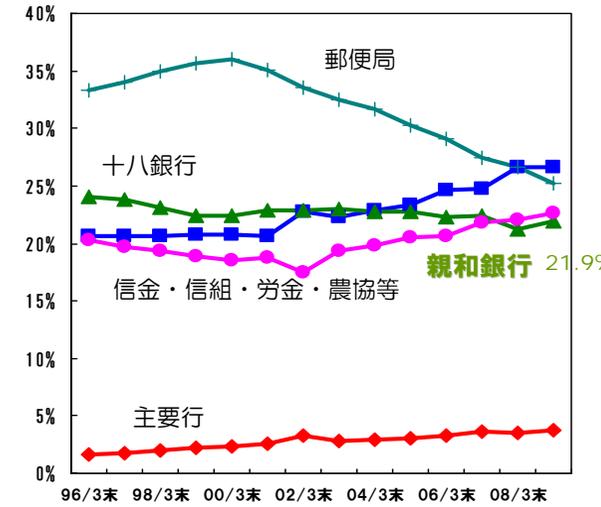
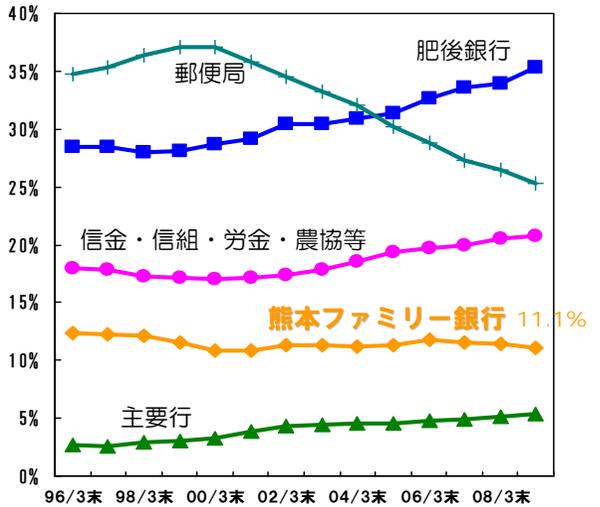
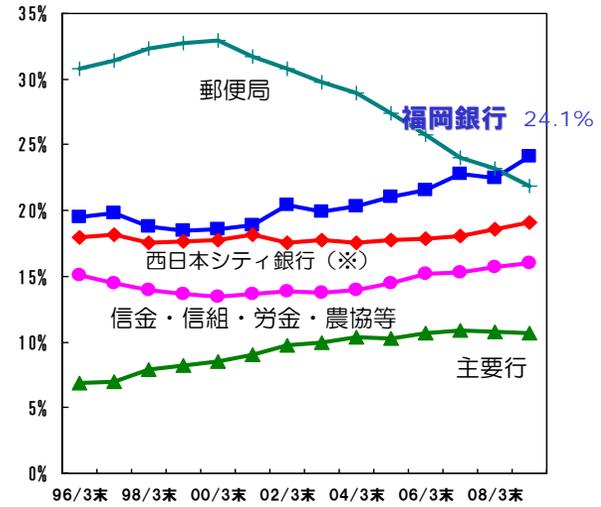
## 熊本県



## 長崎県

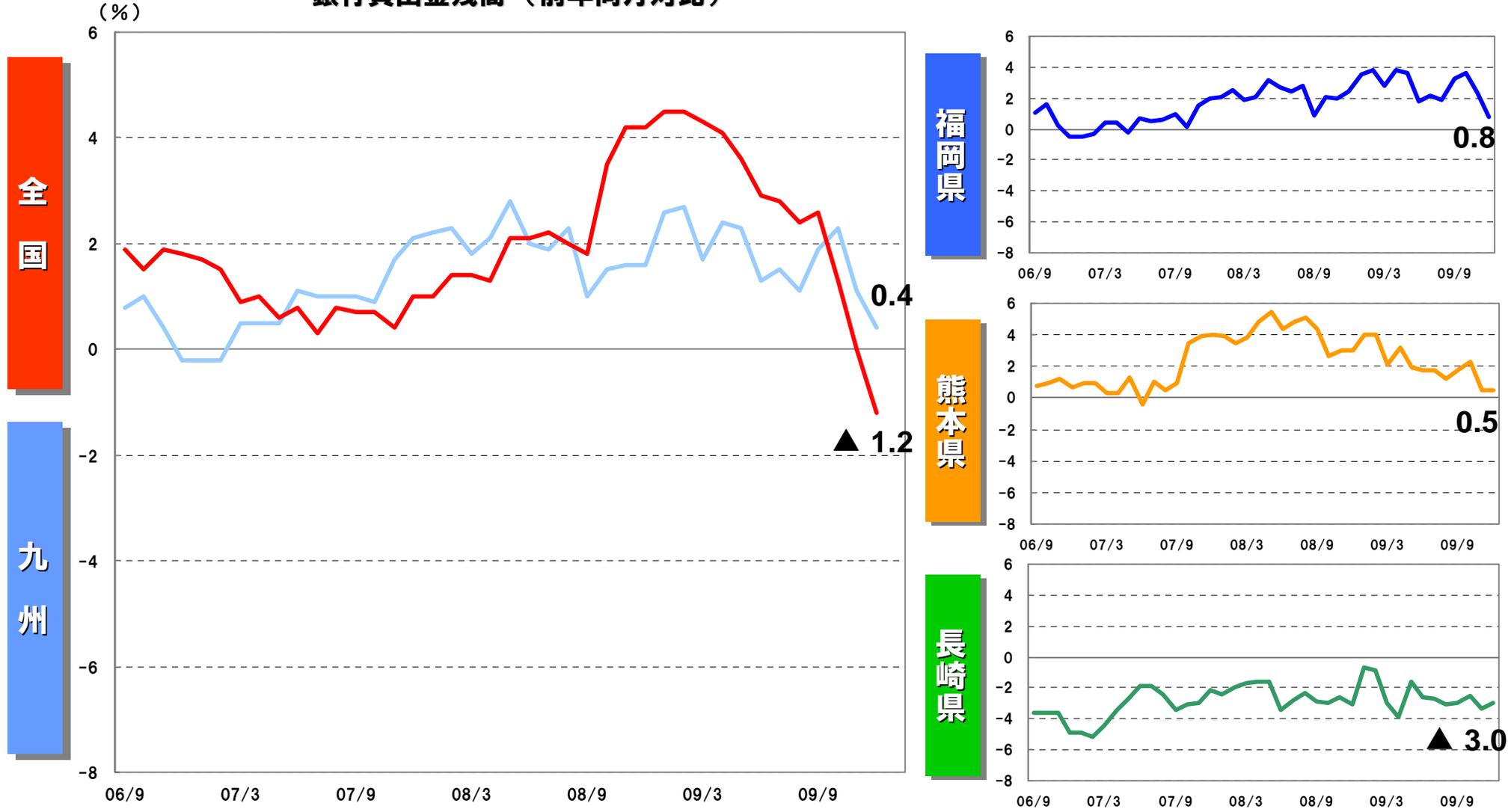


預金



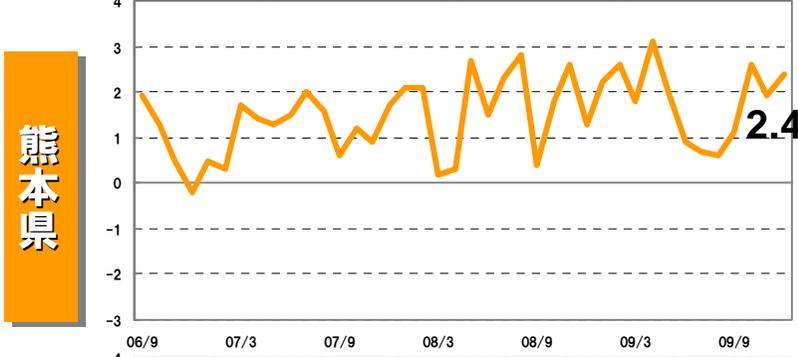
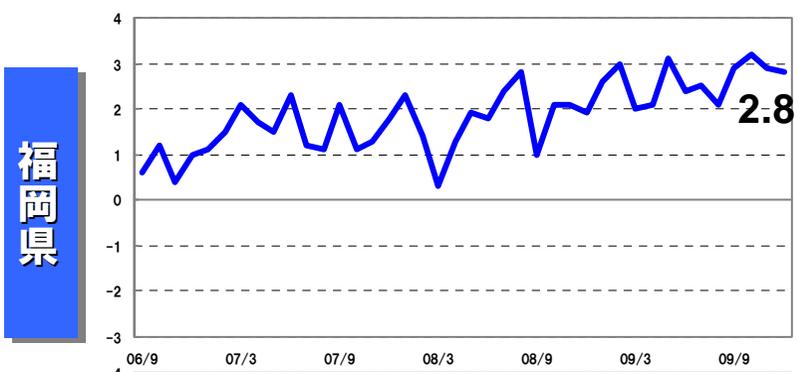
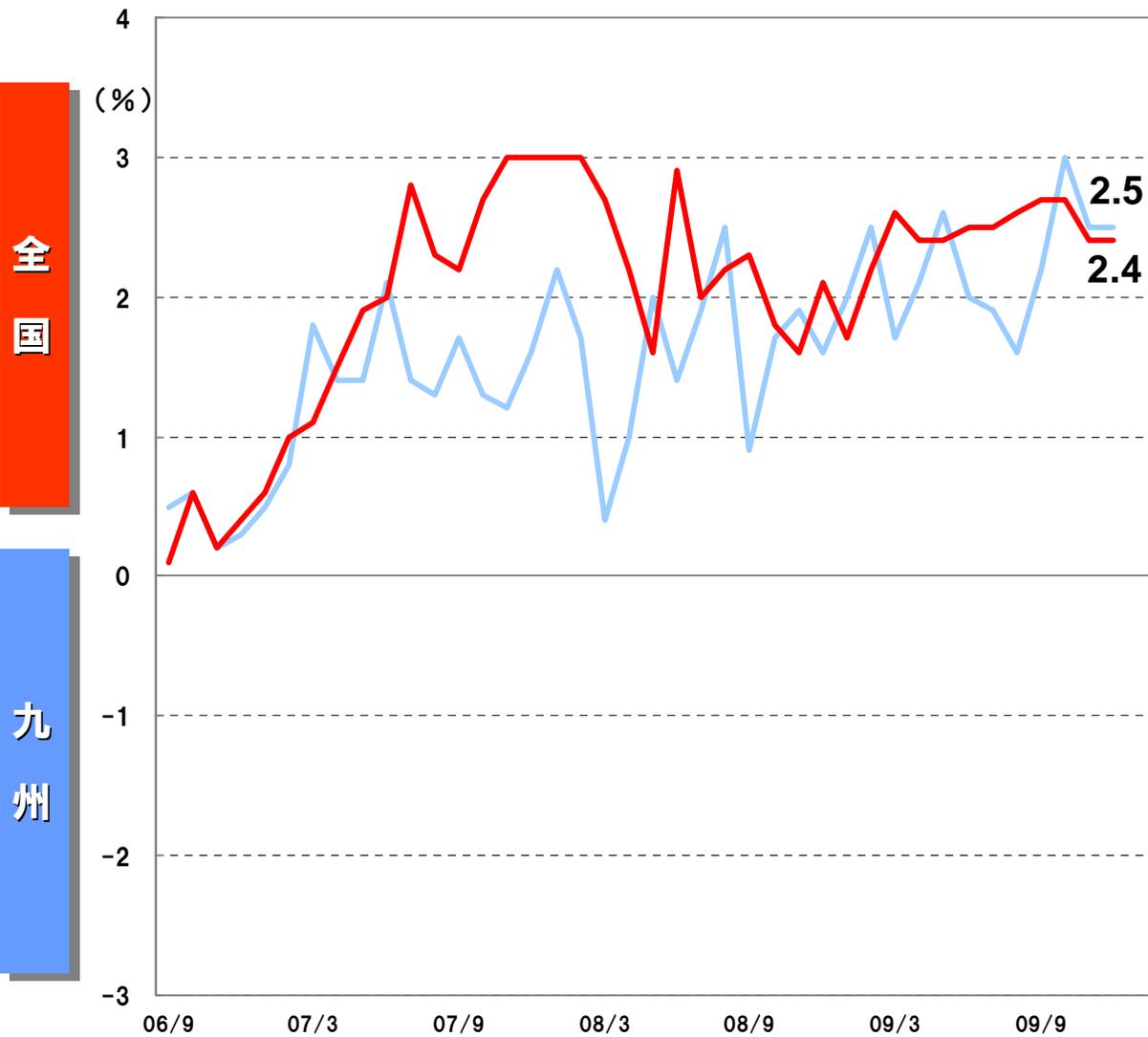
※ 統合前の西日本シティは西日本銀行と福岡シティ銀行の合計

## 銀行貸出金残高（前年同月対比）



出所：日本銀行

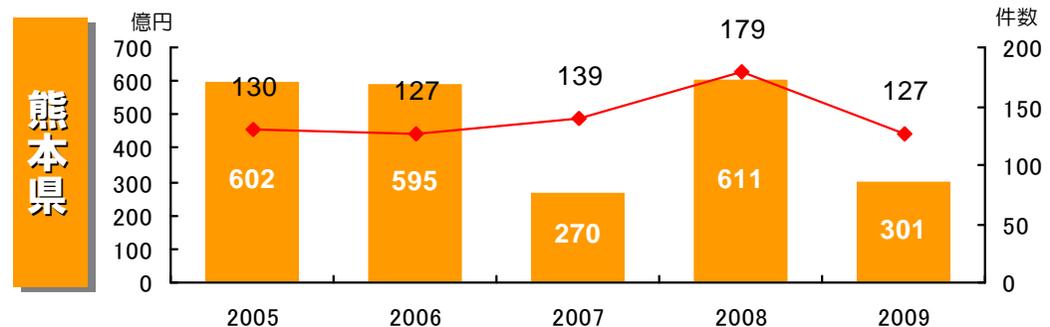
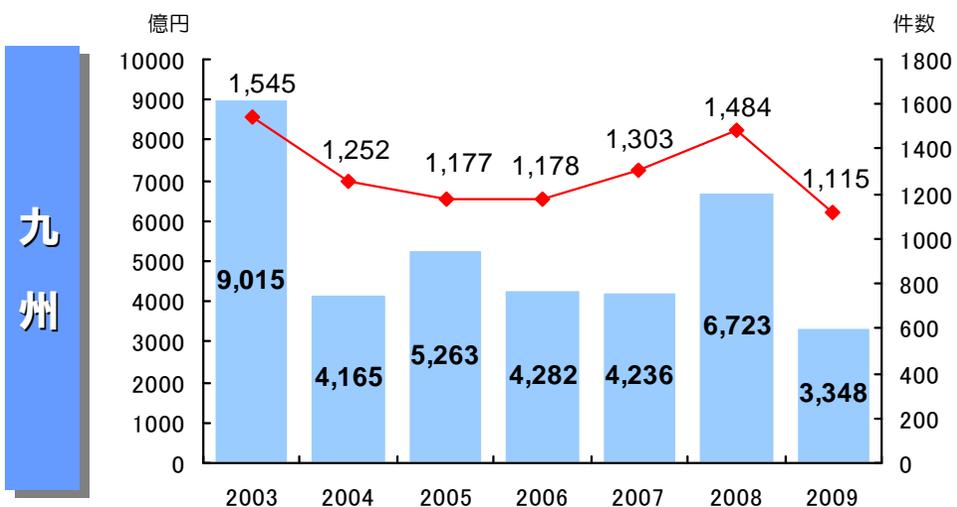
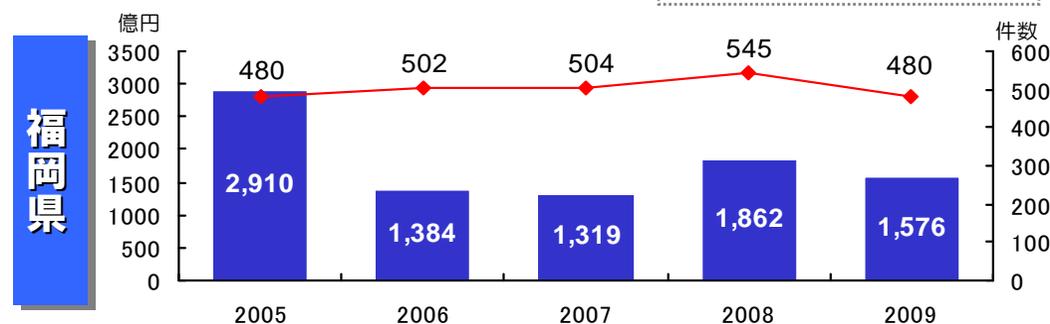
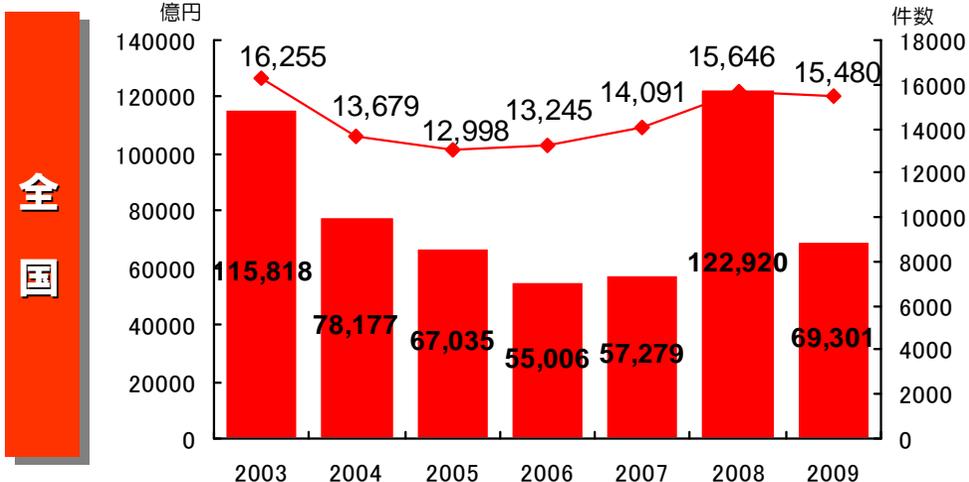
## 銀行預金残高（前年同月対比）



出所：日本銀行

## 倒産件数・負債総額推移

左軸：負債総額 棒グラフ  
 右軸：倒産件数 折れ線グラフ  
 ※2005年以前の県別データなし



出所：東京商工リサーチ

# 主な経済指標 (1)

項目 年月	鉱工業生産指数 (総合) (福岡県・熊本県 2005年=100、長崎県 2000年=100)						新設住宅着工戸数 (合計)						大型小売店販売額						有効求人倍率		
	福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県		福岡県	熊本県	長崎県
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	倍	倍	倍
2006年	102.6	2.6	109.6	9.6	104.0	8.3	58,952	8.4	14,805	5.5	8,940	▲ 12.6	709,923	▲ 1.8	188,840	▲ 0.4	133,933	▲ 4.2	0.85	0.81	0.60
2007年	102.4	▲ 0.2	109.3	▲ 0.3	105.9	1.8	45,066	▲ 23.6	13,286	▲ 10.3	6,901	▲ 22.8	716,699	1.0	187,676	▲ 0.6	130,307	▲ 2.7	0.85	0.82	0.62
2008年	102.7	0.3	103.6	▲ 5.3	118.5	11.9	47,139	4.6	12,542	▲ 5.6	6,942	0.6	700,451	▲ 2.3	184,134	▲ 1.9	124,827	▲ 4.2	0.63	0.63	0.57
2008.11	89.3	▲ 16.8	97.1	▲ 12.6	108.5	▲ 2.9	3,153	7.6	1,164	2.2	692	3.6	58,411	▲ 2.5	15,006	▲ 1.4	10,226	▲ 3.9	0.57	0.52	0.53
12	86.4	▲ 18.7	93.0	▲ 11.3	108.0	▲ 5.1	3,405	▲ 3.8	795	▲ 23.1	560	▲ 3.3	76,361	▲ 4.6	20,683	▲ 4.2	12,995	▲ 7.4	0.54	0.49	0.52
2009.1	74.8	▲ 29.5	82.6	▲ 23.2	85.1	▲ 28.7	2,678	▲ 32.0	771	▲ 37.9	472	▲ 7.8	60,176	▲ 4.1	16,524	▲ 3.0	11,241	▲ 4.3	0.53	0.44	0.48
2	64.8	▲ 41.4	75.8	▲ 31.9	81.2	▲ 36.6	2,866	▲ 7.1	825	▲ 14.3	505	▲ 8.0	48,000	▲ 5.7	12,200	▲ 10.0	8,600	▲ 7.8	0.49	0.41	0.44
3	70.4	▲ 34.2	71.3	▲ 34.2	71.4	▲ 29.1	2,529	▲ 22.2	819	11.0	292	▲ 47.7	54,171	▲ 7.4	14,319	▲ 5.7	9,423	▲ 7.4	0.47	0.40	0.41
4	72.4	▲ 32.2	77.3	▲ 29.2	81.4	▲ 33.7	2,264	▲ 43.8	816	▲ 17.9	465	▲ 10.2	52,740	▲ 4.6	13,614	▲ 6.6	9,455	▲ 4.6	0.44	0.36	0.41
5	79.6	▲ 28.2	76.8	▲ 30.0	91.4	▲ 24.9	2,367	▲ 53.9	650	▲ 38.4	424	5.7	54,205	▲ 4.3	14,120	▲ 4.7	9,635	▲ 4.8	0.41	0.35	0.41
6	80.0	▲ 24.1	78.4	▲ 24.2	109.8	▲ 8.7	2,439	▲ 42.5	1,087	2.3	511	▲ 32.5	51,505	▲ 4.0	13,275	▲ 5.6	9,216	▲ 5.3	0.39	0.36	0.41
7	81.4	▲ 24.9	80.3	▲ 21.3	112.6	▲ 7.8	2,276	▲ 52.7	925	▲ 6.8	361	▲ 21.0	61,265	▲ 8.3	15,883	▲ 8.4	10,982	▲ 7.6	0.38	0.35	0.39
8	84.7	▲ 17.8	81.4	▲ 20.2	121.7	▲ 3.9	1,938	▲ 56.9	750	▲ 40.9	373	▲ 38.8	53,692	▲ 3.0	13,797	▲ 6.2	9,821	▲ 5.6	0.38	0.36	0.39
9	88.5	▲ 14.4	84.3	▲ 18.6	121.2	▲ 3.3	2,078	▲ 49.0	756	▲ 26.0	437	▲ 30.2	49,443	▲ 2.3	12,385	▲ 2.8	8,480	▲ 5.0	0.39	0.37	0.40
10	85.9	▲ 12.3	81.6	▲ 18.9	117.9	▲ 6.6	2,364	▲ 33.0	648	▲ 48.0	607	▲ 13.7	52,594	▲ 4.7	13,683	▲ 5.3	9,012	▲ 3.8	0.40	0.39	0.41
11	87.1	▲ 4.4	86.3	▲ 10.1	94.3	▲ 13.1	2,451	▲ 22.3	897	▲ 22.9	652	▲ 5.8	52,832	▲ 9.6	13,738	▲ 8.4	9,471	▲ 7.4	0.41	0.39	0.41
12							2,747	▲ 19.3	898	13.0	668	19.3	73,302	▲ 4.0	19,193	▲ 7.2	12,588	▲ 3.1	0.40	0.39	0.40
出所	福岡県調査統計課・熊本県統計課・長崎県統計課						国土交通省						九州産業経済局						厚生労働省		

# 主な経済指標 (2)

項目 年月	倒産件数						貸出金残高						預金残高					
	福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県	
	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)
2006年	502	4.6	127	▲ 2.3	125	7.8	131,749	▲ 0.5	27,575	0.7	24,989	▲ 4.9	167,812	1.0	47,162	▲ 0.2	40,336	▲ 1.2
2007年	504	0.4	139	9.4	148	18.4	134,357	2.0	28,666	4.0	24,456	▲ 2.1	170,787	1.8	47,976	1.7	40,923	1.5
2008年	545	8.1	179	28.8	178	20.3	137,598	2.4	29,535	3.0	23,693	▲ 3.1	174,098	1.9	48,615	1.3	40,931	0.0
2008.11	49	4.3	13	▲ 7.1	15	36.4	135,213	2.0	29,074	3.0	23,565	▲ 2.6	172,075	2.1	48,254	2.6	40,770	▲ 0.7
12	46	17.9	23	109.1	14	27.3	137,598	2.4	29,535	3.0	23,693	▲ 3.1	174,098	1.9	48,615	1.3	40,931	0.0
2009.1	47	27.0	15	50.0	10	▲ 16.7	137,893	3.5	29,400	4.0	23,985	▲ 0.7	174,047	2.6	48,231	2.2	40,635	0.4
2	31	▲ 3.1	7	▲ 53.3	6	▲ 57.1	139,537	3.8	29,336	4.0	24,109	▲ 0.9	174,802	3.0	48,420	2.6	41,074	1.3
3	44	▲ 26.7	11	▲ 26.7	6	▲ 66.7	138,830	2.8	29,490	2.1	24,137	▲ 3.0	173,123	2.0	47,989	1.8	40,815	1.2
4	36	▲ 10.0	5	▲ 28.6	14	▲ 6.7	139,053	3.8	29,147	3.2	23,256	▲ 3.9	176,984	2.1	49,228	3.1	41,521	1.4
5	42	▲ 8.7	8	▲ 52.9	12	9.1	139,664	3.6	29,249	1.9	23,765	▲ 1.6	177,992	3.1	49,377	2.0	42,507	2.6
6	48	▲ 2.0	20	25.0	12	▲ 29.4	136,965	1.8	29,144	1.8	23,178	▲ 2.6	177,869	2.4	49,668	0.9	42,231	2.1
7	45	28.6	10	▲ 28.6	7	▲ 58.8	137,635	2.2	29,258	1.8	23,255	▲ 2.7	176,098	2.5	48,858	0.7	41,651	1.4
8	33	▲ 25.0	7	▲ 65.0	11	▲ 26.7	137,549	1.9	29,193	1.2	23,239	▲ 3.1	176,063	2.1	48,978	0.6	41,697	1.0
9	44	▲ 22.8	7	▲ 56.3	5	▲ 66.7	138,182	3.3	29,448	1.8	22,967	▲ 3.0	175,654	2.9	48,713	1.1	41,024	1.0
10	34	▲ 32.0	15	15.4	11	▲ 26.7	138,818	3.6	29,435	2.3	22,922	▲ 2.5	176,567	3.2	49,248	2.6	41,315	2.2
11	31	▲ 36.7	13	0.0	10	▲ 33.3	138,363	2.3	29,208	0.5	22,776	▲ 3.3	177,067	2.9	49,158	1.9	41,281	1.3
12	45	▲ 2.2	9	▲ 60.9	18	28.6	138,767	0.8	29,669	0.5	22,992	▲ 3.0	179,050	2.8	49,790	2.4	41,579	1.6
出所	東京商工リサーチ						日本銀行						日本銀行					

### 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部

- 電 話 092-723-2502
- F A X 092-721-5798
- E-mail ffg-ir@fukuoka-fg.com
- H P <http://www.fukuoka-fg.com>
- 担当者 牛島、藤井、高着、東

本日は、弊社会社説明会にご参加いただきましてありがとうございます。

本日配布いたしました資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。

なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。